東京歯科大学同窓会会報

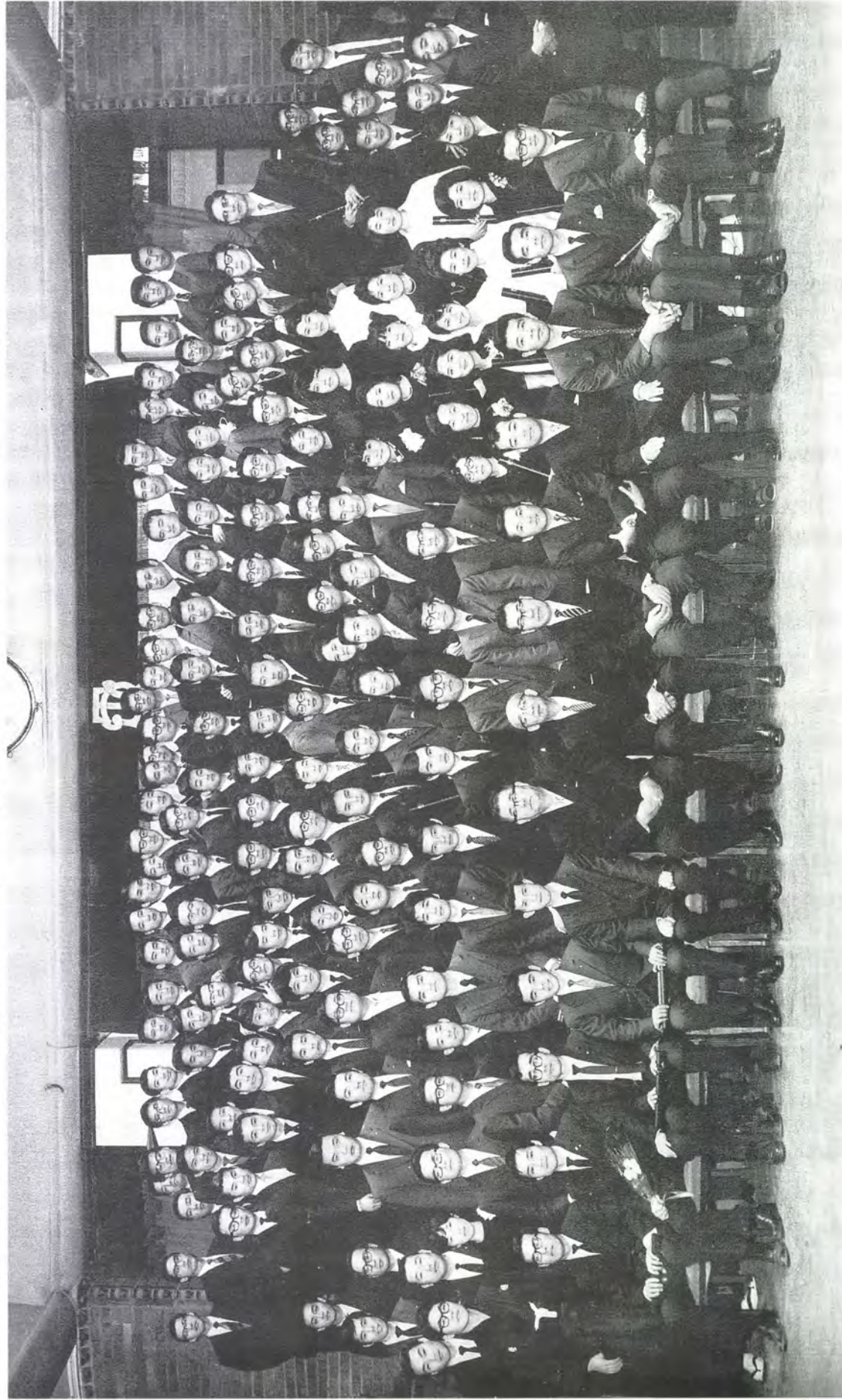
2003年10月　336

東京歯科大学同窓会会報　第336号

目　　次

（表紙　野村　淳）

今 は 昔　卒業アルバム・私のアルバムから

ひとは会 （昭和45年卒）

昭和39年４月，私どもの多くは菅野にあったピンクの平屋建て校舎に入学した。総武線で新宿方面から通った人たちは，千駄ヶ谷国立競技場の聖火を毎日見ていた。そう，東京オリンピックの年だった。乗り遅れたバスを追いかけて，３本松まで走ったのは私だけだろうか。駅付近の島村やタンネは綺麗になったが今でも健在だ。ガラガラチーンとレジスター型の計算機で物理学実習。実習で遅くなると周囲は真っ暗闇。蛙の合唱を聞きながら，なかなか来ないバスを待った。

進学課程を修了し，あこがれの水道橋に移るころには，だいぶ人員の入れ替わりがあり，名簿の後方は個性的な学生が集まっていた。地元では音楽家で知られている人，仲間で雅楽を奏でる人，雀荘から通う人……いやいや，勉強だって頑張った。プロパンガスの不完全燃焼でまっ黒なロウ堤を作った人，外科の口頭試問を終電まで頑張った人，数台しかないキャスター付きタービンを取りあった人……誰かが屋上から戻ってきて「そろそろ最終回だぞ」という。後楽園のスコアボードが９回に近づくと，国電が混雑して帰るのが大変だった。

そのころ，世の中は70年安保の真っ盛り。水道橋校舎の前，白山通りをジグザク行進するデモ隊の声が実習室にまで聞こえてきた。学外で活動した学生もいたが，学内では登院器材の共有化を求めて集会が持たれていた。最近の卒業生には診査用具をはじめ何から何まで入った一辺30cm 木箱なんてわかるはずもない。結束の固い学年だったのだろう，「なかなかいい学年だから，そろそろ今年は卒業するか」という学生も含め153名が，本館の講堂で卒業式に臨んだ。学内へ残った者，学園紛争で卒業生が出なかった医科歯科大や他大学へ行った者，都内そして地元へ勤務した者，45年卒は今でも個性派ぞろいだ。

あれから33年，娘や息子が母校に入学，卒業，また他大学からも院生や研修生として集まってきている。「うちのオヤジ，学生時代はよく勉強したと言っているのですが，ほんとうですか？」などと現教員に聞く息子もいるようだが，それだけ母校への思い入れも強いのだろう。

十数年前から２年に１度，定期的に“ひとは会”と称し，クラス会を開いている。新制大学になって18回目の卒業生だからだ。次の学年は飛翔会なのでよく判らないが，47年卒からは77期会と旧制から通年で数えている。このあたりが戦後一つの区切りなのかも知れない。最近，クラス会は毎年でも良いという声も聞かれる。もっとも女性軍は反対。入学時女性が23人と大人数のこの学年は，隔年開かれる全体クラス会の間に“ひとは会健求部”と称し，女性だけの会を持っている。「あと何回できるかな？」「おい，最後に残った会費はどうする？」「そりゃあ，最後のヤツが盛大に使ってしまえばいい」いつの間にか60歳が目の前になってしまった。

（写真提供：伊藤彰人
文責：山根　瞳）

平成12年５月27日　於　赤坂プリンスホテル

巻　頭　言

歯科医師
臨床研修制度と
同窓会

学術担当常任理事
髙　橋　義　一

平成18年度から臨床研修制度が法制化されます。そうなると卒業後1年間，臨床研修施設で患者さんの治療に携わりながら一人前の歯科医師をめざすことになります。研修の方法には，大学病院など主たる施設のみで研修する単独研修方式と，ある期間地域の歯科診療所などの臨床施設（従たる施設）での研修をも併せて受ける複合研修方式とがあります。従たる施設での研修を希望する研修医も多くなると考えられますので，大学と連携のとれた多種多様な診療所が従たる施設として国内各地に網羅するようになれば，地域で活躍の同窓の先生方と臨床研修制度とが身近なものになるのではと思います。

母校では臨床研修制度をすでに開始しておりますが，母校での臨床研修の充実に対して，同窓会として積極的に協力する姿勢にあります。臨床研修医は同窓会員であり，また，学術事業では生涯研修のスタート地点でもあり，臨床研修プログラムとその後の生涯研修プログラムとが一貫性をもてるように連携が必要です。また，研修目的から見ましても，大学において綿密に作られたプログラムに加えて，臨床家の長い間に培った智恵と経験を生かすことができれば，地域医療の観点から何かしら役に立つことは間違いありません。

このようなことから，母校臨床研修について，大学，父兄会，同窓会の3者（三業会）で以前から意見交換がなされ，その成果として，今秋，合同の一日臨床研修が企画されました。午前は多方面で活躍している同窓臨床家による講話で，臨床研修医にとって将来の進路選択に役立つ情報を提供してもらうことを意図しました。午後は学術部委員会の協力により，長期の臨床症例を題材にしたグループディスカッションが行われました。さらに研修医が臨床家に，より1歩近づくことができるように，1つの試みとして臨床実地見学リストを配りました。今回のリストには父兄会と学術部関係の先生を載せておりますが，研修医がプライベートの時間に，リストに載っている先生のところに訪れ，臨床を見たり，聞いたり，相談したり，あるいは歯科医師会事業や公衆衛生活動現場などの見学の紹介をうけたりできるようにと考えたもので，そこから研修医自身が問題発見し，大学での研修を通して問題解決のプロセスをとれればと企画されたものです。今回の企画は，多くの研修医からも高い評価を得ましたが，同窓会としては大学・父兄会・同窓会の三者が団結することにより，それぞれ単独では難しい課題を前向きに取り組むことができることが認識されましたし，また同窓会学術部委員会も大学における研修医教育に協力できる場があることがわかるなど極めて意義深いものとなりました。

今後の課題は，母校臨床研修の充実に協力することはもちろん，従たる施設に適した診療所を全国同窓レベルで考えてゆくこと，全国の従たる施設のネットワーク作りに協力すること，研修医の身分保障について，他大学卒業の母校研修生の同窓会への迎え方など限りなく湧き出てきます。いずれにしても，臨床研修制度では，大学との新しい関係作りが望まれているのは間違いなさそうです。

お　知　ら　せ

理事会より

●巻頭言で取り上げている大学・父兄会・同窓会の三者懇談会を「三葉会」（みつばかい）という名称とし，今後，共通の問題を継続して協議することになりました。9月13日に行われた歯科臨床研修セミナーは，三葉会で協議され実行に移されたものです。

同窓会事業・行事

●ＴＤＣ卒後研修セミナー2003プログラム

卒研セミナー

「治療方針立案のプロセス」～セカンドオピニオンの視点～

No.6　卒研プレセミナー（ベーシックセミナー）　11月８日（土）

No.7　卒研セミナー　11月９日（日）

問い合わせ先：東京歯科大学同窓会学術部　Tel. 03－5275－1761

●平成15年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会

と　き　平成15年11月15日（土）

ところ　如水会館（千代田区一ツ橋２丁目）

地域支部連合・支部関係

●支部長交替

平成15年９月１日付

牛込支部　鈴木　禎 氏（41卒）

前支部長　渡辺　吉明 氏（34卒）

母校関係行事・案内

●第276回東京歯科大学学会

と　き　平成15年10月18，19日（土，日）

ところ　東京歯科大学千葉校舎（第１・第２教室，セミナー室，講堂）

講　演　一般講演，特別講演，ポスターセッション，評議員会，総会

●平成16年度東京歯科大学入学試験

推薦入学選考・学士編入学試験　平成15年11月８日（土）

一般入試（Ⅰ期）　平成16年２月１日（日）

一般入試（Ⅱ期）　平成16年３月７日（日）

詳細は334号（６月号）13頁～14頁に掲載

発送方法を変更しました

８月号より同窓会報の発送方法が，郵便よりメール便に変わりました。そのため，郵便局に転送届を出されていてもお手元に届かない場合があります。住所確認のため，事務局からご連絡させて頂くこともありますので暫くの間ご理解のほどよろしくお願いいたします。住所変更および会報届け先を変更される場合は本部事務局あて早めにご連絡ください。

TEL 03－5275－1761　FAX 03－3264－4859

東歯関係日歯役員，代議員，各種委員

役　　員

副会長・清藤　勇也（34卒）
常務理事・平井　泰行（39卒）
常務理事・坂井　剛（40卒）
常務理事・川本　黄石（推薦）
理　事・上野　光（38卒）

代 議 員

北海道・川村　勇（39卒）
青　森・高畑　研佑（46卒）
茨　城・山口　忠夫（39卒）
群　馬・川越　文雄（31卒）
千　葉・浅野　薫之（40卒）
埼　玉・氏家　英峰（31卒）
東　京・貝塚　雅信（26卒）
東　京・大友　好（34卒）
東　京・櫻井　善忠（35卒）
東　京・武石　醇作（38卒）
東　京・内山　文博（43卒）
新　潟・佐藤　昭雄（39卒）
静　岡・太田　昭二（49卒）
愛　知・梅村　長生（49卒）
富　山・栗山　豊実（37卒）
島　根・青戸　泰吉（34卒）

裁定審議会

委　員・井上純一郎（24卒）
委　員・鳴神　保雄（30卒）

選挙管理会

副委員長・近藤　安司（30卒）
委　員・浜野　文夫（36卒）
予備委員・堀　光成（37卒）

役員報酬算定審議会

委　員・貝塚　雅信（26卒）

顕彰審議会

委　員・天野　恵（25卒）
委　員・清藤　勇也（34卒）

会館運営協議会

委　員・内山　文博（43卒）
委　員・富山　雅史（57卒）

議事運営特別委員会

委員長・青戸　泰吉（34卒）
委　員・浅野　薫之（40卒）
委　員・栗山　豊実（37卒）

予算決算特別委員会

委　員・武石　醇作（38卒）

厚生委員会

委　員・大橋　和夫（33卒）

疑義解釈委員会

委　員・平井　義人（45卒）
委　員・池田　漠（34卒）
委　員・伊東　兼明（35卒）

税務委員会

委員長・生田　博康（27卒）
委　員・小林　俊春（44卒）

医療管理委員会

委員長・木下　正道（39卒）
委　員・荻原　威雄（47卒）

社会保険委員会

委　員・内田　智幸（44卒）
委　員・早速　晴邦（49卒）

地域保健委員会

委　員・森岡　俊介（47卒）
委　員・西原　和行（49卒）

学術・生涯研修委員会

委員長・宮地　建夫（42卒）
委　員・天野　牧人（54卒）

広報委員会

委　員・黒澤　珍介（46卒）
委　員・中村　宣夫（55卒）

会誌編集委員会

委員長・梅村　長生（49卒）
委　員・黒田　昌彦（42卒）

国際渉外委員会

副委員長・下野　正基（45卒）
委　員・村居　正雄（42卒）

産業保健委員会

委　員・小林　慶太（58卒）
委　員・森田　芳和（50卒）

資金管理運用委員会

委員長・貝塚　雅信（26卒）
委　員・小守　浩（30卒）

歯科医療安全対策委員会

副委員長・渡辺　公武（33卒）

レセプト電算処理検討委員会

委　員・山田　卓也（60卒）

HP 企画運営部会

委　員・梅村　長生（49卒）

歯科衛生士の業務と養成に関する検討臨時委員会

委員長・櫻井　善忠（35卒）
委　員・石井　拓男（推薦）
委　員・木下　正道（39卒）

歯科医療対策プロジェクトチーム

委　員・浮地　文夫（44卒）
委　員・梅村　長生（49卒）

定款等改正臨時委員会

委員長・貝塚　雅信（26卒）

日本歯科医師会創立100周年記念行事実行委員会

委　員・貝塚　雅信（26卒）

日本歯科医師会創立100周年記念誌発行編集委員会

委　員・大井　基道（40卒）

院内感染防止対策委員会

委　員・池田　正一（39卒）

歯科材料試験ガイドライン検討委員会

委　員・小田　豊（推薦）

日本歯科医師会歯科医師青色申告会全国連合会役員

副会長・遠藤　隆一（36卒）
専務理事・川本　黄石（推薦）
日歯理事・上野　光（38卒）

全国警察歯科医会連合会役員

副会長・川越　文雄（31卒）
理　事・貝塚　雅信（26卒）

図書管理運営部会

委　員・上野　眞人（41卒）

器材部会・歯科器材検討委員会

委　員・淺井　康宏（33卒）
委　員・河田　英司（51卒）

器材部会・器械規格委員会

委　員・長谷川晃嗣（60卒）

器材部会・材料規格委員会

委員長・小田　豊（推薦）

薬剤部会

委　員　山根　源之（45卒）
委　員　下村　博武（54卒）

都道府県歯会長

青　森・清藤　勇也（34卒）
群　馬・川越　文雄（31卒）
東　京・貝塚　雅信（26卒）
富　山・栗山　豊実（37卒）
島　根・青戸　泰吉（34卒）

某支部役員会より

四国地域支部連合会　久保田　晃

久しぶりに家で朝を迎えることができた今日の日曜日。盂蘭盆を過ぎてからの異常な暑さとはうって変わって，穏やかな秋めいた日差しが庭の木々や石や塀の甍を照らしている。

この二週，土曜日は夕方から松山に出かけて最終列車で帰ってくるというスケジュールが続いた。

先々週は松本歯科大学の同窓会の勉強会でインプラントのリカヴァリーについて２時間ほど話をした。かれこれ20年前に，シリーズでサファイアインプラントの手ほどきをした。それ以来，個人的にもインプラントが縁で交流のある会員が多い。

実は，もうずいぶん昔，松本歯科大学の第一期卒業生が出たころ，まだ大学が若くて少人数では同窓会の支部を作るのも大変だろうから……と，愛媛県では東歯の支部同窓会に準会員として迎え入れて，長い間誰が東歯で誰が松歯かわからないほど融和して仲良くやってきた。

そして私が支部長をつとめていたころ，会員も増え，機も熟して独立した。会費も同じに出してきた割には総会への出席や議決権がなかったことへのお詫びの気持ちもこめて，相当額のお祝いもした。現在も友好同窓会として，勉強会，レクリエーション，ゴルフコンペなどで仲良くお付き合いをしている。

また奥羽大学歯学部の卒業生の方々ともかつての松歯と同じような関係を続けてきている。

先週の土曜日は，東京歯科大学の支部同窓会の役員会であった。もう私のような年寄りが入っては若い人たちがやりにくいだろうと思うのだが，前支部長ということで大事にしてもらっている。

議題の一つは支部長の交代。今の支部長が，県の会長選以来の葛藤（われわれが推薦した方が再選されたのだが）などで，心身疲れ果てて，しばらく休みたいというので，みなそれを暖かく受け入れ，めでたく次の候補も決定した。

二つ目は，前述の奥羽大学歯学部卒業生との問題。今後も準同窓会員としてやっては行きたいが，会計は別にしたいという申し入れがあって，それならばいっそのこと独立して松本と同じように，友好同窓会としてのお付き合いということにしたら……という提案であった。

一部の若い人たちに少々過激な人がいるのは知っていたが，それが全体の気持ちかどうか，あまりカリカリせずに，もう少し時間をおいたらというのが，私のようなしょぼけた老人の気持ちだが，さて若い人たちはどう処理するのだろうか。

最後は私の個人的なお願いであった。この10月18日に私がお世話をさせていただいている，日本歯科医療管理学会の四国支部総会と学術大会があって，母校から，腰原　好名誉教授，石上惠一教授に来ていただくことになっている。ついてはその懇親歓迎会を同窓会でお願いできないかという話を持ちかけていたのだが，場所の設営，講師の接待一切を同窓会で持ちましょう，管理学会は手元不如意のようだからということで思わず感涙にむせんだのであった。同窓のありがたさが身にしみる。

話は少しそれるが，渉外部がいろいろとご苦労されている。支部での選挙に絡んでは，それなりの資金援助も考えておられると聞く。それも良いが，現状では，わが同窓を代議員などに送り出すのは数の原理上，物理的に至難な支部が多い。では手をこまねいているだけか。いや，たとえ少数でも同窓会が強固な一枚岩になって結束し，選挙結果をも左右するほどの力を発揮すれば，その後に大きな発言力をもつことができるはずであると信じるが，諸氏は如何に。

会　　務

平成15年度東京歯科大学同窓会評議員会
定時総会，懇親会　日程

1．日　時　平成15年11月15日（土）

2．会　場　如水会館　2階　スターホール

東京都千代田区一ツ橋2－1－1

電話番号　03－3261－1101

3．日　程

区　分	時　　間
評議員会	午前10時00分～午後3時00分
定時総会	午後3時10分～午後3時50分
懇親会	午後4時00分～午後6時00分

平成15年度東京歯科大学同窓会評議員会
（午前10時00分～午後3時00分）

1．開会の辞

1．点　　呼

1．会長挨拶

1．来賓挨拶

1．議長，副議長選出

1．議事録署名人指名

1．黙　　禱

1．報　　告

(1)　平成15年度　会務報告

(2)　平成15年度　会計現況報告

1．議　　事

第1号議案　平成14年度　経常部収支決算

第2号議案　平成14年度　特別会計収支決算（同窓会基金，血脇記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金）

第3号議案　平成14年度　卒後研修セミナー，卒後研修セミナー積立金収支決算

第4号議案　平成14年度　財産目録

（監　査　報　告）

第5号議案　財産（備品）廃棄処分

第6号議案　東京歯科大学同窓会会則一部改正

第7号議案　平成16年度　事業計画

第8号議案　平成16年度　入会金（現行本学出身の会員5,000円，推薦会員50,000円）

第9号議案　平成16年度　会費（現行18,000円）

第10号議案　平成16年度　経常部収支予算

第11号議案　平成16年度　共済負担金（現行4,000円）

第12号議案　平成16年度　特別会計収支予算（同窓会基金，血脇記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金）

第13号議案　平成16年度　卒後研修セミナー収支予算

第14号議案　平成16年度　卒後研修セミナー30周年記念事業収支予算

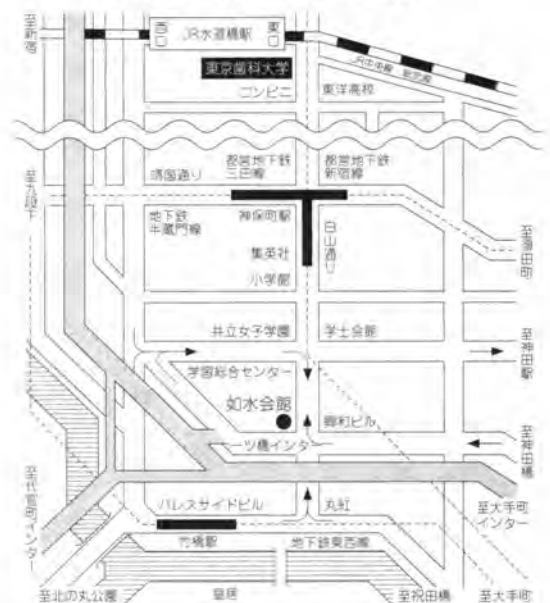
第15号議案　平成16年度　総合政策費積立金会計収支予算

第16号議案　役員改選

1．協　　議

1．叙勲，褒章受章者顕彰式

1．閉会の辞

最寄りの駅からの案内図

第109回東京歯科大学同窓会定時総会
（午後3時10分～午後3時50分）

1．開会の辞
1．会長挨拶
1．議長，副議長選出
1．議事録署名人指名
1．報　　告
(1) 平成15年度　会務報告
(2) 平成15年度　評議員会報告
(3) 平成16年度　経常部収支予算，特別会計収支予算，卒後研修セミナー収支予算，卒後研修セミナー30周年記念事業収支予算，総合政策費積立金会計収支予算
1．議　　事
第1号議案　平成14年度　経常部収支決算
第2号議案　平成14年度　特別会計収支決算
第3号議案　平成14年度　卒後研修セミナー，卒後研修セミナー積立金収支決算
第4号議案　平成14年度　財産目録
（監査報告）
第5号議案　財産（備品）廃棄処分
第6号議案　東京歯科大学同窓会会則一部改正
1．協　　議
1．閉会の辞

第32回同窓会主催全国ゴルフ大会を終えて

本年の大会は平成15年9月4日（木），千葉県の袖ヶ浦カンツリークラブ・袖ヶ浦コースで開催されました。当コースは和泉一介氏の設計で毎年ブリヂストンオープントーナメントの舞台になっており，千葉県屈指の名コースです。同窓会ゴルフ大会では，レギュラーティーの使用とはいえコースレートは71.0もあり，参加者はトーナメントコースを十分に堪能していただけたと思います。競技はアンダーハンディの18ホールストロークプレーで行われ，ハンディキャップの算定法はダブルペリア，当日の競技者は145名に上りました。また，今回は最終組のホールアウト時間を早めるために「セミショットガン」方式を採用したために，5番，14番からもそれぞれ4組ずつのスタートです。

今年の関東地方は涼しくてほとんど“夏がない！”8月でしたが，9月に入るころになって暑くなってしまい，ゴルフ大会当日の残暑が心配されました。天気予報は“くもり”で朝から雲が低く垂れこめ，今にも雨が落ちてきそうでしたが，比較的涼しく，ゴルフにはまずまずのコンディションのスタートでした。早くスタートした組が午前の終盤にさしかかったころ，心配した雨が降ってきましたが短時間であがり，一安心。反対に，午後は一転して真夏のような日差しになり汗をかくシーンも見うけられました。

10月にブリヂストンオープンゴルフトーナメントが開催されるチャンピオンコースだけあり，コースコンディションは素晴らしく，とても良く手入れされていて気持ちの良いラウンドができました。ただ，最近ではプレーする機会の少ないコーライグリーン上のパットは芝目の強さに負け「寄らず，入らず」で，ため息をつく参加者もちらほら……。

今年は新しい試みとして，各クラブメーカーの試打会が催されましたが，広い練習場で最新のクラブを思いっきり打てるとあって好評を博していました。

懇親会・表彰式は，木下正道先生の司会のもと，大会副会長 腰原　好名誉教授の開会のことばで始まり，大会会長 天野　恵同窓会長，ならびに大会副会長 酒井雄学ゴルフ委員会委員長の挨拶がありました。来賓からは井上　裕理事長のご挨拶をいただいた後，大学を代表して腰原　好名誉教授にもご挨拶をいただきました。また，ゴルフ大会開催地である千葉県同窓会を代表して，鈴木常夫先生から歓迎のご挨拶がありました。続いて，同窓会厚生担当理事の梅村長生先生による経過報告の後，参加者を代表して野村有市先生（昭23卒）の音頭による乾杯で懇親会が始まりました。

表彰式は中井英夫競技委員長の競技総評後，井合剛道競技委員により成績発表と賞品授与が行われ，栄えある総合優勝の黒須　誠先生に同窓会長杯が天野　恵同窓会長から，準優勝の那須哲郎先生には学長杯が腰原　好名誉教授から，シニア優勝の高梨恒一先生には理事長杯が井上　裕理事長からそれぞれ授与されました。また，ベストグロス賞の千葉病院長杯は那須哲郎先生と山口英夫先生のお二人が共に78ストロークで同時に獲得されま

した。さらに，グランドシニア優勝は森　滋先生，レディスベストグロス賞は佐々木紀子先生へ，その他，30位までと飛び賞，シニア5位まで，104位（東歯賞），ブービー賞がそれぞれの受賞者にわたりました。

表彰式の興奮が冷めやらぬうちに総合優勝の黒須　誠先生とシニア優勝の高梨恒一先生のうれしいスピーチがあり，最後に同窓会副会長の大友　好先生の来年の再会を約す閉会のことばでお開きになりました。

本大会の開催にあたり，大学当局ならびに同窓会本部，同窓会千葉県支部から多大なご協力を賜りました。また，コース確保にご尽力をしていただきました吉田浩先生に深くお礼を申し上げます。さらに，大会の運営に当たりまして，袖ヶ浦カンツリークラブ，ゴルフ委員会，ゴルフ実行委員会，ならびに同窓会事務所の皆様のご苦労に厚く感謝申し上げます。

来年，第33回大会は酒井雄学委員長によると，神奈川県での開催で，大学関係者が参加しやすい8月中も視野に入れた企画になると伺っています。より盛大で意義のある大会にしたいと思っておりますので，皆様多数のご参加をお願いします。

最後になりましたが，会員皆様のますますのご活躍とご健勝をお祈り致しまして報告とさせていただきます。

（ゴルフ委員　高宮紳一郎）

思いがけない優勝

黒須　誠（昭和42年卒）

20数年ぶりに名門袖ヶ浦C．Cでプレーできる喜びと，多くの同窓の先生方とお会いできるという楽しみで参加いたしました。アウト5番ホールからのスタートということで，なかなかペースが掴めず，またコーライグリーンが難しく，途中でプレーに集中できなくなりかけました。しかし，こんなに素晴らしいコースでプレーできることに感謝し，気持ちを切り替えた結果，スコアーを気にせず最終ホールまで自然体でプレーすることができました。

同伴競技者は腰原　好大会副会長と新谷明則先生，増田隆宣先生で同じ講座の仲間ということで気軽に，楽しくプレーさせていただきました。優勝と言われたときは一瞬，グロス88のスコアーで皆様に申し訳ないという思いが頭の中を駆け回りました。しかし，一生懸命，精一杯プレーした結果なのだからと素直に喜び，皆様に祝福されて，天野同窓会会長より栄えある優勝杯を頂いた時は大変感激いたしました。

ゴルフを通じて全国同窓の先生方が集い，そしてさまざまな交流がなされ，同窓というものの温かさ，素晴らしさを強く感じました。

最後になりましたが，この大会を開催運営してくださいました役員，ならびに当番県千葉の幹事の先生方，そしてお手伝いいただいた事務局の皆様に心より感謝申し上げます。

シニア三度目の優勝

高梨　恒一（昭和34年卒）

この同窓会ゴルフ大会に関しては，非常に運が強く毎回何らかの賞品をいただいています。なかでも袖ヶ浦C．Cでは勝負の女神に特別に愛されているようです。9年前，シニアの一年生で即優勝し，ベストグロス賞もいただき，一般の部でも二位という天変地異でも起こりそうな成績でした。今年はシニア卒業の年で来年からいよいよグランドシニア入りとなってしまいました。この節目にまた強運が舞い込み，井上理事長より直々に理事長杯を頂戴することができ，良き想い出が一つ増えました。内容はインコースからのスタートでまず41，山形から毎回参加してくれる好敵手の堺清一先生も41，午後の勝負となりました。なつかしい先生方と団らんの一時を過ごした後，ビールが効いたのか，気負い過ぎたのか45，堺先生40と完敗でした。とにかく最後までコーライグリーンにタッチを合わせることができず，おまけに4パットの不手際もありグリーンには泣かされましたがとても楽しい一日でした。悔しさと，もしやの複雑な気持で成績発表を待つこと1時間，何と3ダボ1トリプルが全部隠しホールに入っているではないですか。お陰でハンディ14.4で一般の部でも5位入賞，素晴らしい賞品をゲットできました。ちなみに堺先生はハンディ4.8で57位，大変申し訳なく思います。健康に留意して来年もがんばりましょう。最後に大会関係者各位の毎年のご苦労をねぎらい厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

二度ある事は三度ある

森　　滋（昭和24年卒）

練習も充分したことだしと思って参加した同窓会ゴルフ大会グランドシニア部，1位になりました。29回大会で，シニア優勝をしていますので，今回で二度目です。もう一度優勝しようと思ってます。

それにしても，あの狭いフェアウェィ，深いラフ，さんざんなゴルフでしたがハンデ算出法，D.ペリア方式とかで大変有利なH.D.CPをいただき，2位の酒井先生とは0.2差で上位になり，賞品に最高級の牛肉をいただきました。

都歯の大会でシニア入賞で牛肉をもらいましたので，これも二度目です。こちらも三度目をねらう予定です。

同窓会のゴルフは東歯だなあという顔の人ばかりなので，気が楽で楽しいゴルフができます。生ある限り出席しますので，よろしく。

大会を盛り上げてくださった実行委員の先生，運営，大変だったでしょう。心から感謝します。また当日，同伴競技者として一緒にゴルフをしてくれた二人の同級生にお礼を申し上げます。ではまた来年。

ゴルフ大好き人間　森　滋。

成　績　表

順位	名　前	OUT	IN	グロス	ハンデ	ネット
優　勝	黒須　誠	44	44	88	19.2	68.8
準優勝	那須　哲郎	39	39	78	8.4	69.6
3 位	勝俣　正之	48	36	84	13.2	70.8
4 位	金谷　陽介	41	47	88	16.8	71.2
5 位	高梨　恒一	45	41	86	14.4	71.6
6 位	大金　正幸	49	48	97	25.2	71.8
7 位	井合　剛道	46	44	90	18.0	72.0
8 位	島田　英明	45	45	90	18.0	72.0
9 位	冨山佳寿人	42	41	83	10.8	72.2
10 位	内山　健志	49	50	99	26.4	72.6
11 位	鳥居　一也	41	46	87	14.4	72.6
12 位	田辺　陽	42	38	80	7.2	72.8
13 位	吉田　繁樹	40	45	85	12.0	73.0
14 位	東　賢一	46	45	91	18.0	73.0
15 位	宝田　一郎	43	41	84	10.8	73.2
16 位	山口　秀夫	41	37	78	4.8	73.2
17 位	高橋　治好	47	43	90	16.8	73.2
18 位	森　滋	50	51	101	27.6	73.4
19 位	森下昭十三	41	42	83	9.6	73.4
20 位	鈴木　常夫	44	45	89	15.6	73.4

シニア（65歳以上）

順位	名　前	OUT	IN	グロス	ハンデ	ネット
優　勝	高梨　恒一	45	41	86	14.4	71.6
準優勝	大金　正幸	49	48	97	25.2	71.8
3 位	井合　剛道	46	44	90	18.0	72.0
4 位	森下昭十三	41	42	83	9.6	73.4
5 位	橋詰　博雅	52	55	107	32.4	74.6
6 位	腰原　好	47	44	91	15.6	75.4
7 位	杉原　伸顕	42	42	84	8.4	75.6
8 位	大友　好	47	48	95	19.2	75.8
9 位	中井　英夫	49	40	89	12.0	77.0
10 位	池田　漠	53	52	105	27.6	77.4

グランドシニア（70歳以上）

順位	名　前	OUT	IN	グロス	ハンデ	ネット
優　勝	森　滋	50	51	101	27.6	73.4
準優勝	酒井　雄学	51	49	100	26.4	73.6
3 位	宮田　俊昭	59	46	105	31.2	73.8
4 位	松村　祐治	46	41	87	13.2	73.8
5 位	熱田俊之助	55	49	104	30.0	74.0
6 位	伊藤　公	52	50	102	26.4	75.6
7 位	井上　裕	60	52	112	36.0	76.0
8 位	椎名　統治	43	45	88	12.0	76.0
9 位	柳川　昭	49	50	99	22.8	76.2
10 位	梅宮　猛	51	47	98	21.6	76.4

大学・父兄会・同窓会主催による 臨床研修医セミナー開催される

今年の冷夏を忘れさせるような厳しい暑さのなか，9月13日（土）東京歯科大学千葉校舎にて，大学・父兄会・同窓会（三葉会）合同による初めての臨床研修医セミナーが開催されました。

石川学長，山田千葉病院長をはじめ大学関係者，高市父兄会会長以下父兄会役員，池田同窓会専務理事ほか同窓会役員，学術部委員ら多数が見守るなか，千葉病院，水道橋病院，市川総合病院所属の臨床研修医70名の内68名が参加し実施されました。

まず伊藤臨床研修副委員長の開会に始まり，櫻井臨床研修委員長から本セミナーの主旨説明があり，続いて石川学長より，今回の会場となった臨床研修医施設のお披露目として，このセミナーがまさにタイムリーであり，研修医のみなさんがセミナーを通して大いに研鑽をつまれるよう期待するとの，ご挨拶をいただきました。

午前中の父兄会担当講演会は，伊藤臨床研修副委員長のコーディネートにより，卒業後各分野でご活躍中の先生方から，４人の先生がご講演しました。

関　泰忠先生（昭和43年卒）は，共同診療形態と医事処理に関するお話をされ，受講者は共同診療形態というあまり詳しく聞くことのない内容に，興味を示していました。また，医事処理については，新卒歯科医師として臨床に携わってゆく上で，非常に重要な問題であり，昨今の医事紛争を体感し患者さんを診るうえで，注意を惹起させる講演でした。

林　量一先生（昭和48年卒）からは，臨床歯科医師ではなく，歯科材料会社経営者として，歯科材料店として歯科医と接した場合と，歯科医として接した場合の歯科医の対応の違いなど，そのご経験をお話しをいただいた。

最も臨床研修医に近い若手の大岡　洋先生（平成９年卒）は，アメリカにおける教育システムや，実際に留学を考えた場合の手続き，大学選びなど具体的な話に多くの研修医は目を輝かせていました。

最後に，三上直一郎先生（昭和49年卒）より，日常臨床に予防を取り入れ，齲蝕・歯周疾患予防を実践してゆく難しさ，導入するうえで患者さんとどう関わってゆくのか話されました。なかでも，おやつ教室をはじめ積極的な院内，院外活動を通して診療室から地域へ，家族ぐるみを大切にする先生の熱き姿勢に研修医は聞き入っていました。正に，臨床における予防の概念を理解するのにふさわしい講演でした。

午後のスケジュールは同窓会学術部が担当し，総合進行は小林（慶）委員が行いました。内容は症例検討を中心に，口腔内写真，エックス線写真から何が読みとれるのか，診断を進めていくうえで何が重要なのかについて，ディスカッションを交えて進められました。

最初に，宮地委員の症例を基に，症例の診かたについて学術部委員が参加してディスカッションを行いました。このディスカッションにより，症例の診かた，問題点の抽出等症例検討の手法を理解してもらい，その後グループディスカッションに移行しました。

グループディスカッションでは，７～８名の小グループに分けて，全班同じ症例について１時間検討しました。各班の進行は大学の総合診療科から２名，学術部委員より７名，父兄会から１名のチューターが付いて進められ，開始直後は発言もやや消極的でありましたが，徐々に緊張もほぐれ，自分の視点で問題点の抽出，診断のキーワードを提示しながら参加しておりました。その後，藤関委員の司会で，各班のディスカッション結果について２班を抽選で選び，全員の前で発表しました。意見として収束する部分，あるいは拡散する診かた，意外な視点があり，限られた時間ではありましたが模擬体験

ができたのではないでしょうか。

最後は，山本委員から長期症例のケースプレゼンテーションがありました。治療過程のなかで症例の診かた，視点の移り変わりをお話しいただき，症状や問題点に目を奪われることなく，一口腔単位の診断・処置の大切さが伝わってきました。

山本委員の発表に対し，宮地委員より「長期症例から学ぶことは多いが，口腔内写真・エックス線写真という記録があるからそれができるのであり，経時的に写真を見比べて初めて解ること，診られることがある。研修医のみなさんも記録を取ることから始めて欲しい」とのコメントがありました。

初めて開催される研修医セミナーであり，参加者の反応が注目されましたが，終了後実施したアンケート結果では，研修終了後の進路について，あまり聴く機会のない内容なので受講できて良かったとの声が聞かれました。また，午後の症例検討では，診査診断において色々な診かたがある事が認識できた，病態を把握する事の難しさがよく解ったなど，満足度の高い反応を読み取ることができました。

臨床研修医セミナー　日程

平成15年9月13日（土）9：00～15：30
於：東京歯科大学千葉校舎臨床研修医施設

9：00　開　　会　伊藤彰人臨床研修副委員長
9：00　主旨説明　櫻井　薫臨床研修委員長
9：15　挨　　拶　石川達也学長
9：30　講 演 会（父兄会担当）
　　　コーディネーター：伊藤臨床研修副委員長
　　　講演者：1．関　泰忠　昭和43年卒
　　　　　　　2．林　量一　昭和48年卒
　　　　　　　3．大岡　洋　平成9年卒
　　　　　　　4．三上直一郎　昭和49年卒
12：00　昼　　食
12：50　症例ディスカッション（同窓会学術部担当）
　　　学術部委員も含めて全員での症例フリーディスカッション
13：20　グループディスカッション（9グループ）
　　　主なディスカッション内容：口腔内写真，X－Pから症例を読む
14：20　（休憩・移動）
14：25　グループディスカッション報告
　　　各グループで作成したレポートを基に，代表2グループから検討項目の発表
14：50　学術部山本委員による長期経過ケースプレゼンテーション
15：30　終　　了

三葉会（みつばかい）という名称は，平成15年5月1日に行われた大学・同窓会・父兄会の三者懇談会で，石川達也学長の提案により名付けられたものであります。歯科医師臨床研修が話題となりました数年前から，同窓会・父兄会それぞれが大学に何かお手伝いできないかと試行錯誤を重ね，昨年から三者で数回の会合を持ち，第1回の催しとして今回の臨床研修医セミナー開催の運びとなりました。三葉会は，臨床研修問題に限らず，大学の発展を願い，三者共通の問題を幅広く継続して協議する会として設けられたものです。

保　　　険

『保険請求のQ＆A』

Q1　電話等において，療養上必要な指導を行った場合でも歯科口腔衛生指導料または，歯周疾患指導管理料は算定してよいでしょうか。

A：算定できません。再診が電話等により行われた場合にあっては，歯科口腔衛生指導料，継続的歯科口腔衛生指導料，歯周疾患指導管理料は算定できません。

Q2　診療情報提供料を算定する場合，どのような疾病が対象となるのでしょうか，また提供先のレセプト記載は必要ですか。

A：保険医療機関であれば疾病に特に制限はありません。また，提供先のレセプト記載は相手が保険医療機関であれば必要ありません。
ただし，保険医療機関以外に情報提供を行った場合は，「摘要」欄にその情報提供先を記載してください。

Q3　診療情報提供料は情報提供先によって，どのような算定になりますか。

A：歯科診療所→医科診療所　　情(A)で算定
　　〃　　　→歯科診療所　　情(A)で算定
　　〃　　　→病院　　情(B)で算定
　　〃　　　→大学病院歯科矯正科・矯正専門歯科診療所　　不可
　　{ただし，保険給付適用となる歯科矯正に係る場合は情(B)または情(A)を算定できます}

Q4　歯周疾患の治療において再評価の検査に際し，必要があってパノラマ撮影または全顎法によって撮影を行ったときは所定点数を算定してよいでしょうか。

A：算定できます。
パノラマ撮影法を行った場合は318点，全顎10枚法を行った場合は440点で算定します。

Q5　歯冠修復物または補綴物の除去はどのように算定するのでしょうか。

A：除去料の算定早見表

除去料　15点	除去料　30点	除去料　50点
1．アマルガム 2．硅酸セメント 3．硅燐酸セメント 4．レジン 5．複合レジン 6．グラスアイオノマー 7．硬質レジンジャケット冠 8．ジャケット冠 9．帯冠金属冠，乳歯冠 10．ポンティック破損の一部 11．SK 破損の一部 12．その他のコア 13．インレー 14．義歯の鉤	1．FCK，前装鋳造冠 2．急性症状のある歯牙の鋳造歯冠修復物 3．連結してある歯冠修復物の切断（1カ所につき） 4．ポンティックの切断（1カ所につき） 5．ロジャーアンダーソン氏スクリューピン（1本につき） 6．滑面板 7．整復装置（1／3顎につき） 8．暫間固定装置 9．歯冠に嵌入した義歯の切断	(根管内ポストを有する鋳造体) 1．SK 2．メタルコア 3．ポストインレー

Q6　歯ぎしりに対するナイトガードを作製する場合の算定の仕方をお教えください。

A：［ナイトガード］
　印象40点，BT なし
　ナイトガード1,600点（1,500点＋装着料100点）
　調整の算定はできません
［アクチバトール式ナイトガード］
　印象70点，BT160点
　ナイトガード2,200点（2,000点＋装着料200点）
　調整の算定はできません
（参考）［顎関節症の咬合挙上副子］
　印象40点，BT なし
　咬合挙上副子1,530点
　（1,500点＋装着料30点）
　レジン添加調整200点

Q7　分割抜歯（ヘミセクション）の請求はどのようにすればよいのでしょうか。また，どの部位の根を抜いたのか「摘要」欄記載は必要でしょうか。

A：レセプトの処置・手術の「その他」欄に，分割抜歯（ヘミセクション）460×回数で請求してくだ

さい。「摘要」欄については必ずしも必要ではありません。

Q 8　抜歯の手術行為に入ったが，歯牙そのものの理由によりあらゆる努力と技術を施行したが完全に抜歯することが困難となり，やむを得ず中止した場合の算定方法をお教えください。

A：難抜歯において，完全抜歯が困難となり，やむを得ず抜歯を中止した場合における費用は，難抜歯460点により算定します。

請求は処置・手術の「その他」欄に

難抜歯中止　460×回数

「摘要」欄にその旨を記載します

Q 9　打撲等により脱落した歯牙を保存可能と判断して，元の歯槽窩にもどし固定を行った場合は再植術の点数と暫間固定の点数を算定してよいでしょうか。

A：再植術（外傷による場合）1,300点と暫間固定530点の算定を行って差し支えありません。

Q10　スケーリング，SRP，PCur 時の浸麻料は算定できますか。

A：算定できません。歯周基本治療には浸麻および特定薬剤の費用が含まれます。

Q11　浸潤麻酔の算定できるものを教えてください。

A：浸潤麻酔の算定できるものは下記のとおりです。

①普通処置

②抜歯および麻抜中止の時

③歯牙破折片の除去

④歯冠修復物，補綴物の除去

⑤歯冠修復物，補綴物の装着時

⑥その他麻酔を含むと規定されていない120点未満の処置

Q12　補管算定期間中の FCK やブリッジの脱離に対して，再装着した場合の算定の仕方をお教えください。

A：再装着料は算定できませんが，装着材料料（セメント料）は算定できます。

単治も算定できます。

「摘要」欄に補管算定年月日と補綴物の種類を記載します。

Q13　メタルコアを製作したまま未来院となった時の請求はどのようにしたらよいでしょうか。

A：1ヵ月程度待った上でメタルコアの算定となります。

㊟装着料は差し引きません。

Q14　補綴物製作後，診療を中止した場合には1ヵ月程度待ったうえで請求する取り扱いとされていますが，死亡が明らかな場合に限り1ヵ月を待たずに請求する取り扱いとしてよいでしょうか。

A：そのとおり取り扱ってかまいません。ただし，その事由を「摘要」欄に記載し，請求してください。

㊟請求要領は次の通りです。

①製作月で請求

②実日数は実態通りまたは0日

③「転帰」欄は死亡

④「摘要」欄は㊍

Q15　Hys 処置の算定回数に制限はあるのでしょうか。

A：特に制限はありません。実態に沿って算定してください。

Q16　新製義歯製作中の旧義歯に対する調Bの算定は可能でしょうか。

A：可能です。

Q17　隣接面を含む窩洞形成とは隣在歯がない場合でも同様の扱いですか。

A：複雑窩洞とは隣接面を含む窩洞で，隣在歯の有無には関係ありません。

Q18　歯周疾患でのネオステリングリーンの使用は，どの時期であれば認められますか。

A：用法・効能にしたがって，必要があって使用した場合は，時期にかかわらず認められます。

Q19　P総診を算定する場合，病名は部位およびP管理中でよいでしょうか。

A：部位とP，P管理中の併記病名が必要です。

例：7┼7/7┼7 P，P管理中

Q20　メタルコア加算は自院で製作したものであれば，いつ装着したものでも算定可能ですか。

A：同一初診内であれば算定可能です。

社会保険指導者研修会後の情報交換会

全国の社会保険指導者が一堂に会する，平成15年度全国社会保険指導者研修会が，９月３日に日本教育会館（一ツ橋ホール）において開催された。

研修会終了後，昨年に続き第２回目となる東京歯科大学同窓の情報交換会が，如水会館「松風の間」で午後５時より，全国から研修会に参加した各地区における保険の指導的立場にある同窓87名が出席し，盛大に開催された。

席が足りなくなるほどの盛会となり，黒須　誠同窓会渉外担当理事の司会で，梅田昭夫同窓会副会長の開会に始まり，天野　恵同窓会会長から今後も同窓会の発展にますます努めたい旨の挨拶があった。つづいて，来賓挨拶として，同窓会副会長でもある清藤勇也日本歯科医師会副会長から，日本の医療を守るために，執行部として平井泰行社保担当常務理事と坂井　剛地域医療担当常務理事と共に協力して，国民に良質な医療を提供し，医療倫理を守る方向で頑張っていきたい，今後もより一層の同窓の協力がほしいとの挨拶があった。その後，指導医療官を代表して佐藤春海東京社会保険事務局保険部保険医療課指導医療官から，今後ともより良質な医療を保っていきたいとの挨拶，さらに，同窓会嘱託でもある貝塚雅信東京都歯科医師会会長から，同窓会としての保険対策への現在までの経緯，保険対策委員会が発足して昨年は保険小冊子を発行したことなどの紹介があり，同窓として協力し今後もさらなる力を注いでいこうとの挨拶があった。さらに来賓として出席していただいた四家秀雄静岡社会保険事務局保険部保険医療課指導医療官の紹介が行われた。

続いて情報交換にうつり，坂井　剛同窓会渉外担当理事座長の下，「最近の指導状況について」の演題で，佐藤春海，四家秀雄，両指導医療官より講演があった。つづいて，多忙中駆けつけた，平井泰行日本歯科医師会社保担当常務理事より「中医協の審議状況と今後の展望について」の講演があった。講演後，情報交換を含めた質疑・応答にうつり，講師を交えて三重県の柘植先生，静岡県の山元先生，東京の森岡先生等から『混合診療の定義』，『混合診療と特定療養費制度とについて』，『今後の歯科訪問診療の方向性』，『介護保険の見直しを含めかかりつけ歯科医の地域保健における位置づけ』等の話題に関して活発な討議がなされた。そして今後，『口腔ケア』が，社会としてますます重要になるのでその実態に注意していきたいとの同窓ならではの忌憚のない意見の披露もなされ，有意義な情報交換の時間が瞬く間に経過した。発言も尽きないなか，情報交換を終了し，最後に黒須誠渉外担当理事より，社会保険指導者研修会への出席対象者は，支部長並びに地域支部連合会会長のご尽力により，125名がリストアップされた。いずれも全国の各地区において保険関係でご活躍いただいている先生方である。また，本年度は，渉外部保険対策委員会として，４月号の同窓会報より「平成15年４月改定の要点」ならびに「保険診療のＱ＆Ａ」を掲載しているので参考にされたい。質問，意見等があったら是非寄せていただきたいとの報告と要望があり，増田進致渉外担当理事の閉会で会を終了した。

引き続き，隣接する「富士の間」において，佐藤　剛保険対策委員の司会進行の下に懇親会が開催された。金子雅英同窓会副会長の開会に始まり，内山文博日本歯科医師会代議員会議長ならびに，四家秀雄指導医療官の挨拶があり，乾杯の発声を神奈川県福祉部介護国民健康保険課指導監査専門医の伊藤兼明先生が行い，会は進行した。多数の方の出席のなか，和やかな雰囲気のうちに時間が経ち，別れを惜しみつつ小貫　克保険対策委員会委員長の閉会により会は盛会の内に終了した。

（保険対策委員　佐々木眞澄）

追 悼 記 事

恩師鈴木和男先生を偲んで

水 口 清（昭和49年卒）

母校名誉教授，本会名誉会員鈴木和男先生は，去る8月28日朝，慶応義塾大学病院にて肺炎のためご逝去されました。享年76歳，昨年の5月以来の長い入院生活でした。

ご葬儀は信濃町千日谷会堂において執り行われましたが，先生の生前のご業績と幅広いご活躍，お人柄を偲ばせ，会葬客は引きも切らず，本学井上 裕理事長，石川重明警視総監，松野頼三元衆議院議長，黒河内久美元外務省領事移住部長・元フィンランド大使・元軍縮大使，俳優佐野浅夫氏らのご弔辞をお受けになられた盛大なものでした。

先生のご経歴は，学内において要職を歴任されたのみでなく，特に社会的な活動において極めて広い分野に及び，古種種基先生，恩師上野正吉先生が会長をされた日本犯罪学会の第5代会長を勤められ，さらに日本交通科学協議会副会長などを歴任されました。また，そのご業績と活動の歴史は，国際法科学会ワードスミス賞，日本犯罪学会賞，日本歯科医学会会長賞を受賞し，さらに警察協力章，外務大臣表彰，運輸大臣・法務大臣・警視総監よりの感謝状を始め，国際協力事業団総裁，県警察本部長などから多くの感謝状をお受けになられていることで，その一端を表することができます。

先生の法医学におけるご経歴を語ることは日本の法歯学の歴史を語ることに相当します。

先生は昭和26年に東京歯科医学専門学校を卒業後，口腔外科学教室に残られましたが，同28年には東京大学医学部法医学教室 故上野正吉教授の元で法医学を学び，再び母校に戻られたあと，同39年に日本で最初の歯科大学の法医学研究機関，歯科法医学（法歯学）研究室主任に任命され，日本の法歯学がスタートしました。研究室開設からの先生の活動は，法歯学を社会的に認知させるために多大な努力を続けてこられたことに集約されます。先生の数多くの社会的な貢献の最も顕著な例は，昭和60年群馬県御巣鷹山に墜落した日本航空機事故において，約2ヵ月にわたり犠牲者の個人識別のために尽力したことでしょう。極めて不幸な事故ではありましたが，群馬県歯科医師会の先生とともに活動された，先生の遺族に対する人間味と誠意をもった対応は，法歯学に携わる人間の手本となるべきものといえます。この事故を契機に大規模災害時に歯科医師が個人識別に積極的に係わり社会に貢献する動きが急速に広まり，全国各県に警察協力歯科医会が相次いで設立され，本年，日本歯科医師会に警察歯科医会連合会が設立されるにいたっています。

現在のこのような状況は，先生の永年の法歯学領域における活動なしにはあり得なかったことであり，先生はまさしく日本の法歯学の祖と呼ぶに相応しい存在でした。

これらの生前の御功績に対し，先生は勲三等旭日中綬章を授与され，正五位に叙されました。

先生は日本のみならず国際的にも非常に著名な方で，学会に同行させていただきますと，多くの知人がいることに驚かされたものです。これは先生のご業績によることは言うまでもありませんが，誰にも分け隔てなく接する親しみのある人柄ゆえに，多くの人を引き付けてこられたのでありましょう。

先生は母校を愛し，法歯学を愛した方でした。

社会への奉仕と法歯学の教育・普及・発展にその生涯を捧げられた先生に対し，限りない敬意を捧げ，悼んで心よりご冥福をお祈り申し上げます。　合掌

（法歯学講座主任教授）

卒研セミナー2003

バーチカル根充を体得しよう

平成15年６月28日（土），29日（日）両日にわたり，2003年臨床実技セミナー「バーチカル根充を体得しよう，根管充填実習とデジタルＸ線による評価」が，水道橋血脇ホールにて開催されました。

一般的にバーチカル根充は，根端部の複雑な根管系に対して，より緊密な充填が行える反面，術式が煩雑で，加圧操作や熱のコントロールに熟練を要するといわれています。一方臨床では，樋状根管や内部吸収を生じた根管など，本法が必要とされる場合も多いことも事実です。

本セミナーは，以上のことを踏まえ，基本的な根管充填法の概念をおさらいするとともに，バーチカル根充の考え方，ラテラル根充との根管形成法の違いなどを，わかりやすく理解できることを目標に企画いたしました。

さらに，実習では，代表的な術式３種をとり上げ，実践的に体得できるようにいたしました。

１日目は，歯科保存学第一講座主任教授中川寛一先生に，バーチカル根充の基礎，根管形成のポイント，デジタルＸ線の特徴などをお話しいただきました。

ついで３種の具体的な術式の解説を，担当の先生方にご講演いただきました。オピアン・キャリアー・メソッドは，京都府開業の山田邦晶先生がご担当されました。山田先生は，本法の創案者である故大津晴弘先生の薫陶を受けられた先生で，現在本法を継承する第一人者です。ご講演では，術後20年経過例を含め素晴らしい症例を見せていただきました。

術式は，ガッタパーチャを軟化して根充するウォームコーンテクニックの一方法で，長さ４mm，直径0.9mmの円筒形に調整されたガッタパーチャコーンを特殊なキャリアーに装着し，火焔により軟化させ，根管口より根尖に向かって垂直挿入し，加圧，コンデンスする方法です。ガッタパーチャコーンを火焔に通す時間がポイントで，デモンストレーションでは，受講者の目が山田邦晶先生の指先に集中しました。

FPコア・キャリアー法は，歯科保存学第一講座，加藤広之講師にご担当いただきました。本法は，近年発売されたポリプロピレン製ポイントをコアとして利用した加温軟化ガッタパーチャ充填法で，加藤先生ご自身が考案された新しい根管充填法です（歯科学報　本年６月号，カラーアトラス参照）。

３つ目のオブチュラⅡ法は，加温軟化ガッタパーチャ注入法で，ガンタイプ・ハンドピースの加熱チャンバーでガッタパーチャを加熱軟化し，トリガーを引くことによって，根管内に挿入したニードルから軟化したガッタパーチャを注出し，手早く三次元的に根充する方法です。歯科保存学第一講座，八ッ橋孝彰先生にご担当いただきました。

受講者の多くは，各術式とも，熱のコントロールや加圧の加減が難しく，根充状態に一喜一憂しているのが見受けられました。また，持参した天然歯の根充が不充分だった受講者からは，「根充時の根管形成状態について，バーチカル用の根管形成の重要性を実感した」という声も多く聴かれました。

実習は両日にわたり，３グループに分かれて各術式をローテーションする形式で行いました。今回の実習用に特注した，側枝付き透明エポキシ根管模型と受講者が持参した天然歯根管について実習を行いました。天然歯では，根充前後にデジタルＸ線装置にてＸ線画像を記録し，根管充填後の評価も併せて行いました。

受講された方々の反響も好評のうちに，２日間のセミナーを無事終えることができました。

学術部委員会

全国歯科大学同窓・校友会学術担当者連絡会報告

1997年2月，医歯薬出版会議室に全国29校の歯科大学および歯学部同窓会・校友会28組織の学術担当者が一同に会し，第1回全国歯科大学同窓・校友会学術担当者連絡会(以下,学術連絡会)が開催されました。

以来，学術情報の交換，学術事業のあり方・方法の模索検討，その基礎になる学術担当者の交流を目的として，学術連絡会は年2回開催されてまいりました。

各同窓会・校友会の学術を担う参加者は，大学の枠を越え純粋に学術活動だけをテーマに集まり活動し，今年の夏で14回目を迎えることができました。

最近では，学術活動の情報交換に加え，同窓会の学術活動として「何ができて，何をしなくてはいけないのか」という難しい命題に取り組んでいます。

さらに，いよいよスタートする新卒者の臨床研修医制度への対応，あるいは定着してきた日本歯科医師会生涯研修制度と同窓会学術活動の棲み分けについての検討も必要になってきました。

本学同窓会学術部としては，地方同窓に対しての学術活動をますます活性化してゆくために，各地の大学同窓会・校友会学術との協力体制が必須になると考えております。

そのためには，各校の地域性，創立年度，大学内の組織体系等が異なり，意見をまとめるのが非常に難しい面もありますが，政治的な話が一切出ない会ということもあり，本音の意見交換が行われる学術連絡会を通して，交流を深めてゆく方針です。

現在，各同窓会・校友会からの負担金で賄われている学術連絡会の運営は，円卓会議のため常任的な代表者は決まっていませんが，ボランタリーの大学・担当者により事務・会計面は適切に処理が行われ活動しています。

これからも本学同窓会学術部では，今までと同様に同窓会・大学・父兄会と協調の上，28校学術連絡会に参画する一同窓会として，学術面において「何ができるか」の提言，そしてアクションプランを示してゆく予定です。同窓の皆様には，その活動ならびに経過を折々にご報告させていただきます。

なお，先日名古屋にて開催されました，愛知学院大学同窓会主幹による夏期学術連絡会の詳しい内容は，歯界展望10月号に掲載されます「集会レポート」をご覧ください。

また，各同窓会・校友会主催の研修会を検索できる学術連絡会HPは，本校の同窓会HPからもリンクして見られますので併せてご案内いたします。

東京歯科大学同窓会 HP：
http：//www.tdc－alumni.jp
学術連絡会 HP：
http：//www.gakujyutsu－renrakukai.hmf.gr.jp/

第14回学術連絡会会議風景　愛知学院大学　2003．8．2

特別シンポジウム風景　愛知学院大学　2003．8．3

母校だより

平成16年度東京歯科大学大学院歯学研究科(博士課程)(Ⅰ期・Ⅱ期)

学生募集要項

募集人員　34名（Ⅰ期・Ⅱ期の合計。なお，社会人特別選抜Ⅰ期・Ⅱ期を含む）

受験資格

1）歯科大学または大学歯学部を卒業，もしくは平成16年3月卒業見込の者。

2）1）と同等以上の学力があると認められた者。

3）医科大学または大学医学部を卒業した者。（ただし，この場合歯科理工学講座を除いた歯科基礎系講座のみを志望できる。）

入学願書受付期間

Ⅰ期：平成15年9月1日（月）～平成15年11月17日（月）

Ⅱ期：平成15年12月1日（月）～平成16年3月19日（金）

試験科目

外国語（英語：辞書（電子辞書可，但しその他の機能があるものを除く）の持込み可），専攻主科目および面接

学生募集要項（社会人特別選抜）

募集人員　若干名（原則として歯科基礎系専攻）

受験資格

開業医，大学，研究所の勤務医・教員・研究者等として原則2年以上の経験を有し，入学後もその身分を有する者で，以下の資格を満たしている者。

1）歯科大学または大学歯学部を卒業した者。

2）1）と同等以上の学力があると認められた者。

3）医科大学または大学医学部を卒業した者。（ただし，この場合歯科理工学講座を除いた歯科基礎系講座のみを志望できる。）

入学願書受付期間

Ⅰ期：平成15年9月1日（月）～平成15年11月17日（月）

Ⅱ期：平成15年12月1日（月）～平成16年3月19日（金）

試験科目

1）外国語（英語：辞書（電子辞書可，但しその他の機能があるものを除く）の持込み可），専攻主科目および面接。

2）口頭試問（面接）および提出書類の審査によって社会人としての業務歴または研究内容，基礎学力の評価を総合的に判断し選考する。

選考日・選考会場

Ⅰ期：平成15年11月22日（土）
Ⅱ期：平成16年3月31日（水）　東京歯科大学　千葉校舎

合格者発表

Ⅰ期：平成15年11月27日（木）
Ⅱ期：平成16年3月31日（水）　正午　千葉校舎教務課前

学　費

入学金　300,000円

授業料　600,000円

学生会費　2,000円

施設維持費　100,000円（入学当初のみ）ただし，本学を卒業した者からは徴収しない。

納　期　上記の学費を以下の期間内に納入のこと。

Ⅰ期：平成15年11月28日（金）～平成15年12月5日（金）

Ⅱ期：平成16年4月1日（木）～平成16年4月7日（水）

備　考　⑴　授業料は，前・後期に分納することができる。

⑵　大学院研究科学生を対象とし，日本育英会からの奨学金貸与制度がある。

小児歯科における障害者歯科治療

水道橋病院小児歯科主任　大多和　由　美

これまで,「水道橋病院の今」において,少子化に伴う小児歯科の診療内容の変化と当科のリコールシステムについて,また,予防歯科としての口腔ケア外来に携わる小児歯科の役割について紹介させていただきました。今回は,小児歯科における障害者歯科をご紹介させていただきたいと思います。

水道橋病院には,障害者歯科という診療科は独立してはなく,各診療科において対応しております。小児歯科では,原則として初診時年齢0歳～15歳までの健常者,障害者,有病者のすべての方を拝見しています。

水道橋病院小児歯科における障害者歯科治療

今年6月までの最近3年間の障害者の患者様の実態を調査したところ,障害の種類別では,中枢神経障害,神経,筋系障害の方(MR,脳性麻痺,Down症など)が約30%,言語障害・咀嚼機能系障害の方(唇顎口蓋裂など)が約40%,情緒障害の方(自閉症など)が約13%でした。来院の経緯は,直接来院された方は,ごくわずかであり,開業歯科医院,院内の他科,他病院口腔外科,医科病院,また患者様からのご紹介により来院される方がほとんどでした。

障害者に対する対応法の延べ処置数をみると,TEEACH法やTell Show Do法などの行動変容法により対応およびトレーニングを行い,通常法下で治療を行っていた方が全体の約70%でした。

しかしながら,治療に非協力な知的障害をお持ちの患者さん,強直な痙攣を自制することのできない脳性麻痺の患者さんに対しては,歯科麻酔科と連携のもとに,静脈内鎮静法や全身麻酔を応用して,治療を受けていただいています。基本的に全身麻酔の応用は,お一人の方の治療回数が減りますので,延べ患者数を調査すると割合としては少なくなります。静脈内鎮静法や全身麻酔を応用した方は,約15%でした。全身麻酔は,日帰り全身麻酔で,朝来院していただき,治療後,昼過ぎか夕方には帰宅できます。

CURE から CARE へ

治療内容をみると,保存処置が最も多く約50%,外科処置は約15%を占めていました。しかし,予防処置が約30%,咬合誘導処置が約6%と全体の1/3以上が,齲蝕治療ではなく,予防やQOLの向上を目的とした処置でした。

障害者の方は,口腔清掃が行いにくく,また齲蝕の発見も遅れがちになりますので,治療後の定期健診やPMTCが重要であり,保護者の方のニーズも高いものがあります。しかし,遠方の患者様も多く,定期健診に来院することが困難なことも多いようです。ご紹介いただいた患者様には,治療終了後も健康管理の一環として,またQOLの向上のために当科もしくはご紹介の先生のところで定期健診を行うようにお勧めしております。どうぞ当病院を有効にご活用くださいますようよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先:
水道橋病院小児歯科
TEL　03−5275−1723
FAX　03−5275−1750
(診療情報提供書の必要な先生はFAXでご請求ください)

「東京歯科大学Ｖの会」から図書ご寄贈

今般,富巳会(昭和40年卒)の有志3名様(臼井久雄・丹羽ひさゑ・水川晴海　各位)から,図書ご寄贈のお申し出をいただきました。

母校に何か役に立つことはないかと,かねてより「東京歯科大学Ｖの会」として銀行口座を設けて積み立てをしており,50万円に達したのを機に,5月15日(木),3名揃って水道橋に学長を訪ね,(永井事務局長,野口図書館整理係長が同席)石川学長に相談なさったところ,「ならば図書を是非に」ということになり,図書選定について,ご相談いただきました。図書館としてはこれまで余りに高額なため,見送らざるを得なかった「Encyclopedia of Life Sciences」全20巻〔Nature Publishing Group刊〕と「西洋思想大事典」全5巻〔平凡社刊〕を推しましたところ,2点について即決,快諾していただきました。今後も,更に同志の輪を拡げ,母校の役に立ってゆきたいとのこと,心強く,また胸打たれるお話でした。ご寄贈いただいた図書は現在,書架に並び,利用に供しております。ここに誌面を借りて,厚くお礼申し上げます。

なお後日,Ｖの会の方々には,学長からの感謝状をお届けいたしております。

(文責　図書館・新井　勉)

支部のうごき

＊この掲示板は，同窓会ホームページ http://www.tdc-alumni.jp にも掲載されています。
日程等，決まり次第，できるだけ早めにお知らせください。
印刷，発行日の都合上，会報に載せられない場合がありますが，その場合は同窓会ホームページに掲載されますので，ご了承ください。原稿用紙はホームページからでもダウンロードできます。

事業種目 日　時	演題及び講師又は事業内容	会　場	主　催 連絡先	参加対象
学術講演会 15年11月1日(土) 午後3時30分	「知っておきたい 歯科小手術のABC」 山根源之教授 (東歯大オーラルメディシン学講座)	ユアーズホテルフクイ 福井市中央1－4－8 TEL 0776－25－3200	福井県支部 連絡先 担当幹事　森本一良 TEL 0776－24－1838 FAX 0776－24－8638	同窓会員 歯科関係
学術講演会 15年11月9日(日)	「歯周病 ―全身とのかかわりと口腔ケア―」 石原和幸助教授 (東歯大微生物学講座)	三重県歯科医師会 津市桜橋2－120－2 TEL 059－227－6488	三重県支部 連絡先 学術担当　宮崎弘隆 TEL 059－237－0029	同窓会員 歯科医師 衛生士 介護関係者
学術講演会 15年11月11日(火) 午後7時30分	「Oリングテストの歯科への応用」 藤巻五郎先生 (千代田区歯科医師会会員・日歯大出身)	ロッテ会館 東京都墨田区錦糸4－6 TEL 03－3625－5101	城東支部 支部長　山田英夫 TEL 03－3685－1087 FAX 03－3685－1091	支部会員 同窓会員
学術講演会 15年11月15日(土) 午後6時30分 ～8時	「口唇裂・口蓋裂の取り組み」 1．口唇裂・口蓋裂の基礎と臨床 2．ベトナムにおけるチャリティー手術 (外務省海外医療援助) 内山健志教授 (東歯大口腔外科学講座)	多摩地区歯科医師会連合会事務所 小金井市本町5－12－14 スプリングビル3F TEL 042－381－8525	北多摩支部 支部長　原　肇 TEL 042－536－0875	同窓会員
学術講演会 15年11月23日(祝) 午後2時	「身元確認における歯科医師の役割について」 橋本正次助教授 (東歯大法人類学研究室)	ホテルアウィーナ大阪 大阪市天王寺区 石ヶ辻町19－12 TEL 06－6772－1442	大阪府支部 支部長　徳永昭夫 TEL・FAX 072－751－2010	同窓会員 及び家族
学術講演会 15年11月29日(土) 午後4時30分	「歯髄・歯根膜の本音」 「最新歯科治療の舞台裏から」 井上　孝教授 (東歯大臨床検査学)	音羽（日本料理） 小諸市鶴巻2－2－27 TEL 0267－22－2225	東信支部 支部長　村居正雄 TEL 0268－27－4340 FAX 0268－26－1720	支部会員 同窓会員 歯科医
15年総会時学術講演会 15年11月30日(日)	「X線写真で見る歯周組織の変化」 奥平紳一郎先生 (愛知県開業)	名鉄ニューグランドホテル 名古屋市中村区椿町6－9 TEL 052－452－5511	愛知県支部 連絡先 学術担当　牧野健司 TEL・FAX 052－731－4361	支部会員
学術講演会 15年12月6日	「法人類学―骨と日本人―」 橋本正次助教授 (東歯大法人類学研究室)	熊本交通センターホテル 熊本市桜町3－10－1F TEL 096－354－1111	熊本県支部 連絡先 学術担当　添島正和 TEL 096－381－4118 FAX 096－387－3528	支部会員 同窓会員
学術講演会 15年12月7日(日)	「歯科局所麻酔―安全で快適な歯科治療のために―」 一戸達也教授 (東歯大麻酔学講座)	ホテルアソシア静岡ターミナル 静岡市黒金町56 TEL 054－254－4141	静岡県支部 連絡先 専務理事　森　泰彦 TEL 053－474－3232 FAX 053－474－5558	同窓会員
学術講演会 15年12月7日(日) 午後3時	「基礎疾患に対応した歯科薬物療法の考え方」 川口　充教授 (東歯大薬理学講座)	三の丸ホテル 水戸市三の丸2－1－1 TEL 029－221－3011	茨城県支部 連絡先 幹事長　大野勝己 TEL・FAX 029－856－2330	支部会員 同窓会員 歯科関係

中国地域支部連合会

総会・学術講演会

平成15年6月21日秀峰大山の麓，米子市のワシントンホテルにおいて中国5県より61名の出席を得て，鳥取県の当番で開催された。総会は伊藤楯樹先生の司会進行により小徳賢司地域支部連合会会長の挨拶，大学から井上　孝教授より学生募集要項として配布されているCD－ROMから最近の様子と大学全体としての新たな歯科医学教育について語っていただきました。池田　漠専務理事より同窓会本部への協力に対するお礼と近況を語っていただきました。ついで議長に今井　悟先生を選出し，報告と協議事項が承認され総会を終了しました。

その後，学術講演に移り「歯科医療の舞台裏」と題して井上教授より根拠を理解していないと問題が解けない時代になってきている。そこで歯科臨床においても同じことが要求され，このことについてわかりやすくお話していただきました。

終了後，懇親会にうつり，鳥取の山海の料理を堪能していただき，会員の奥様の有志によるゴスペルオーブを聞きながら楽しいひとときをすごして散会しました。

（高野淳人 記）

事業種目 日　時	演題及び講師又は事業内容	会　場	主　催 連絡先	参加対象
講演会 15年12月13日(土) 午後4時	「人体のパラドックス・ 足元から考えよう」 田中嘉一郎先生 （山梨県スキー連盟選手強化部役員）	古名屋ホテル 山梨県甲府市中央1－7－15 TEL 055－235－1122	山梨県支部 連絡先 学術担当　京嶋英幸 TEL 055－233－3294 FAX 055－233－3270	支部会員 同窓会員

四国地域支部連合会

平成15年四国地域支部連合同窓会総会

平成15年5月17日(土)，高知市「ホテル日航高知旭ロイヤル」において，高知県支部が担当となり，四国4県より27名の参加を得て，標記総会が開催されました。来賓として，同窓会本部より，鈴木　裕副会長，渡辺公武常任理事，久保田　晃地域理事，母校より教務部長の井出吉信教授をお迎えしました。

沖　義一高知県副支部長の開会の挨拶に始まり，昨年度に亡くなられた愛媛県の原　達也先生への黙祷を捧げた後，各ご来賓の先生方から，同窓会活動や国家試験，学内の様子等についてのお話をいただきました。特に，井出先生からは，学生が一人一台パソコンを持ち，教科書ではなくCD－ROMを渡されて勉強していることなど，時代は変化している様子を長時間にわたり話していただきました。

続いて，解剖学で実際学生が使っているソフトを使っての学術講演が，井出先生により行われました。

記念撮影後，同ホテル最上階の展望レストランに場所を移し，懇親会が開かれました。来賓の井出先生，高知県歯科医師会の恒石会長の挨拶の後，鈴木副会長の乾杯の発声で開宴となりました。高知の夜景を眼下に，料理を堪能し，美酒に酔いしれ，和気あいあいとした雰囲気で盛会の内にお開きとなりました。そして，二次会，三次会，屋台のラーメンと，またたく間に高知の夜は更けてゆきました。　（池田　顕 記）

神奈川県支部連合同窓会

夏のレクリエーション

会員･家族レクリエーションが，8月7日(木)に行われた。今年はテレビドラマの舞台にもなった全日空機体整備工場がコースの一つに入っているためか，多数の会員・家族が参加した。午前8時15分に横浜駅西口を出発し，一路羽田空港全日空機体整備工場へと向かった。整備工場では，まず飛行機の原理や仕組みなどの一般的な話を聞いた後，皆ヘルメットをかぶり，実際にジャンボ機の整備を行っている現場で説明を受けた。間近に見るジャンボ機の大きさに参加者一同感嘆の声を上げた。

その後，バスは昼食会場の新高輪プリンスホテルへ向かい，レストラ

ン「マルモラーダ」にてハワイアンフエスタと銘打ったバイキング料理を堪能した。最終目的地は「船の科学館」で，ここでは現在，東シナ海より引き上げられた北朝鮮工作船が展示されており，夏の強い日差しのなか，銃痕が生々しく残る錆び付いた工作船は物悲しく，２国間の距離の遠さを痛切に感じた。館内を見学後，無事帰路に着いた。参加者は61名（会員28名・家族33名）であった。

（厚生　伊東博敬 記）

地域役職者納涼懇談会

８月30日(土)午後６時から横浜中華街「萬珍楼本店」にて，地域役職者の納涼懇談会が開催された。本会は浜野前執行部の時に，県下で活躍している同窓の日歯・県歯・地域歯科医師会役職者の懇談を目的に行われ，今回は関新執行部においてさらなる結束を強めるために開かれた。

関　泰忠会長は冒頭，沿革誌編纂事業・未入会者対策・女性会員の積極的な参画など就任以来の経過を述べるとともに「今後，懸念される医療改革において，同窓会としてできる限り同窓諸氏の益になるよう努力し，今日の集まりを通して各役員の連携を密にし“強い同窓会”を目指したい」と挨拶した。続いて浜野文夫前会長の乾杯の発声で開宴し，和やかな雰囲気のなか出席者の紹介と挨拶が行われた。出席者からは，目標を持った同窓会の必要性，今後の医療保険改革への同窓会の対応，各種学会との緊密な連携の必要性，研修施設への協力，各地域歯科医師会での問題点の提起など同窓会や県歯に対する貴重な発言が続き，それに対し関会長の考えが述べられ『目標を持った強い同窓会』を目指すことを確認し閉会した。なお出席者は57名であった。

（広報　鈴木信治・渡邊宇一 記）

群　馬　県　支　部

平成15年度定時総会

平成15年７月12日(土)，伊香保温泉「福一」にて，定時総会が開催された。来賓として同窓会本部より，池田　漠専務理事，群馬県歯科医師会より川越文雄会長のご臨席を賜った。

総会は清見能久総務の司会で進められた。武安一嘉会長が挨拶を述べ新会長としての抱負が語られた。

来賓挨拶では池田専務理事から同窓会本部の近況や，大学の現状，日本歯科医師会の状況など多岐にわたってのお話をいただいた。

庶務報告の後，長澤　宥先生を議長に選出し，第一号議案・第二号議案が可決承認された。また前会長冨澤憲男先生の顧問就任の件が上程され承認された。

ここで，急務のため到着が遅れていた川越県歯会長がお見えになり，ご挨拶を頂戴した。同窓会の協力に対する感謝の意が述べられた。

しばらく休憩した後，学術講演会が行われた。口腔超微構造学講座助教授の見明康雄先生による「目で見る再石灰化の仕組み　唾液の作用とキシリトールの効果」との演題で，キシリトールの働きや実験の裏話など興味深いご講演をいただいた。

講演会終了後，温泉で日ごろの疲れを癒してから懇親会が始まった。司会の加藤浩三副会長の名調子で進行し，武安会長の挨拶，正木光児先生の乾杯の音頭で酒宴に入った。皆，大いに飲み交わし，熱く語り合い伊香保の夜を堪能したのであった。

（原　　茂 記）

東京歯科大学群馬県同窓会

千　葉　県　支　部

平成15年度親睦ゴルフ大会

平成15年６月26日(木)親睦ゴルフ大会が成田市スカイウエイCC にて井上　裕理事長をはじめ会員47名の参加を得て開催されました。朝の開会式では,宮下恒太支部長・井上　裕先生より感謝と激励の挨拶をいただき，写真撮影の後，アウト・インに別れ新ペリア方式で競技が行われました。天候は，曇り・気温26度・微風と，梅雨時には珍しい爽やかな天候に恵まれ，参加者は皆気持ち良くラウンドすることができました。

結果	グロス	ハンディ	ネット
優勝　中井英夫（S34卒）			
	84	12.0	72.0
2位　斎藤浩司（S60卒）			
	89	16.8	72.2
3位　佐々木脩浩（S47卒）			
	93	20.4	72.6

ベスグロ賞　露崎孝二（S42卒）
グロス80

パーティーは，ノンアルコールで開かれました。優勝した中井英夫先生には，東京歯科大学理事長井上裕先生よりご寄贈いただいた見事な理事長杯が贈られました。その他にも東歯賞(14位),当日賞(26位)等,参加者の約３分の１の方が賞に当たりました。

この親睦行事は，会員が余り多忙ではない時期に，安くて・気軽で・楽しめるをモットーに開催しています。今年は，井上　裕先生を交え，30代から70代までの幅広い年代の会員が，１日を和やかに楽しまれました。

（鳩貝尚志 記）

新　潟　県　支　部

平成15年度総会

去る６月28日(土)，越後六日町温泉「ホテルニュー越路荘」において今年度の新潟県支部総会が，来賓として同窓会本部より渡辺公武常任理事，母校より教務部長の井出吉信教授，母校同窓で昨年新潟大学口腔再建外科学教授に就任された齋藤　力先生をお迎えし同窓37名の参加を得て開催されました。

総会は，広瀬　秀先生による開会の辞に始まり，清水　潮先生を議長に選出し，五十嵐重之支部長からは，今期の新潟県歯科医師会および郡市会役員改選において多くの会員の先生が，お二人の県歯副会長を始めとして重職に就かれたことは誠にご同慶の至りであり，同窓会本部からも快挙を祝す賛辞を頂戴したとの報告がありました。

ご来賓からは，渡辺公武先生より会務運営状況，井出吉信先生からは母校の近況，とくに学生教育に関わる共用試験システム等のご報告がありました。引き続き諸報告および物故会員へ黙祷を捧げた後，議事，協議に移り，次期支部長に現支部長の五十嵐重之先生を満場一致で選出しました。最後に高垣順吉副支部長より閉会の辞があり総会を無事終了しました。休憩後，学術講演会となり，母校同窓で獨協医科大学法医学教室助教授の高橋雅典先生を講師にお迎えし，「法医学および捜査における個人識別とその実際 ― 歯科所見とDNA鑑定 ―」と題した貴重なるご講演を拝聴しました。

記念撮影の後，懇親会となり，木村義和先生司会のもと，五十嵐　治先生の開会の辞で宴は始まり，岡村芳昭先生の地元歓迎の挨拶，ご来賓挨拶と続き，佐藤昭雄先生ご発声による乾杯の音頭の後，バンド演奏も加わり大いに楽しい夜を過ごしました。恒例となっている八百枝正樹先生のリードで校歌斉唱し，盛会の中，赤柴俊也先生による万歳三唱，鈴木義隆先生の閉会の辞にて終宴後も，二次会へと親睦の輪を広げました。

(宇佐美祐一　記)

神奈川相北支部

総会，講演会，懇親会

平成15年7月26日(土)，小田急ホテルセンチュリー相模大野において支部総会が開催されました。まず，渋谷利雄支部長より，久しぶりの会合のため経過報告を兼ねた挨拶があり，その後，神奈川県連合同窓会会長の関　泰忠先生より，ご挨拶ならびに県下全般の同窓会の様子，得意な社保のことから今後の新執行部の活動予定までのお話がありました。

ついで総会に移り，議長に山田勝朗先生を選出し，渋谷支部長より庶務報告，小島正裕先生より会計報告がなされ了承されました。なお，その他，会員より今後は定期的な開催を希望するとの要望がありました。総会後，講演会が行われ，本学歯科麻酔学講座・一戸達也教授より，東京歯科大学の現況説明があり，その後“術後の疼痛と神経麻痺”についてのご講演をしていただきました。とくに下顎智歯抜歯後の舌神経マヒに対する注意，神経損傷の様子，痛みの分類や鎮痛法についてのお話がありました。全員での写真撮影の後，懇親会に移り，中村昭仁先生の挨拶，関戸利夫先生の乾杯に始まり，会食しながら，参加者全員からスピーチをしてもらい，久しぶりに東京歯科大学同窓の結束を確認しあいました。

（新倉良一 記）

クラス会だより

クラス会開催日程

千　秋　会（昭和27年卒）	と　き	平成15年11月8日（土）午後5時30分
	ところ	キャピトル東急ホテル
六　喜　会（昭和33年卒）	と　き	平成15年11月22日（土）
	ところ	ホテルニューアカオ ロイヤル・ウイング
久　喜　会（昭和36年卒）	と　き	平成15年11月15日（土）
	ところ	目黒雅叙園

東京歯科大学アメリカンフットボール部
創立20周年記念パーティー

本年をもちましてアメリカンフットボール部OB会が創設20周年を迎えることができました。これを記念して，平成15年7月5日(土)午後6時より，東京，飯田橋ホテルエドモントにて創設20周年記念祝賀パーティーが執り行われました。

当日，パーティーは実行委員長の川又正典先生（S61年度卒）の挨拶で始まり，続いて部長の花岡洋一先生（法歯学教室助教授）の挨拶，宮野　貴先生（S61年度卒）の乾杯の挨拶で和やかに会は進んでいきました。会場に現役部員，OB会員，またその家族とで総勢80名ほどになり，会場を埋め尽くした人たちはみな懐かしい顔ぶれに終わることのない会話に花を咲かせていました。また，子供連れで出席されている方も珍しくなく，当時後輩でかわいかった女の子が今や母になっている姿を見ると，月日の流れを痛切に感じさせられました。会の中ほどでの前部長の戸沢行夫先生（現亜細亜大学教授）の挨拶では皆，話を聞いているうちに当時のアメフトへの熱い思いが甦ってきて，今にもグランドに出て動き回りたいといった感じでした。

また，当時の思い出の写真をスライドで上映し，一枚上映するたびにその写真に写っている当時のヒーローに舞台に出て来ていただき，そのころのことを振り返りながらエピソードなど話していただきました。その時代，時代で多くの思い出深い出来事がありましたが，当時を知らない人でも今回スライドを見ながら話を聞けたこともあって時間が足りなくなるほど多いに盛り上がり，会は盛会のうちに幕を閉じました。

わが部は先に述べたように20周年を迎えたわけですが，道のりは決して楽なものではありませんでした。当初は部ではなく，たった4人の単なるアメリカンフットボール好きな仲間たちの集まりに過ぎませんでした。当時の練習場所といったら駐車場隅の芝生部分で，車が2台は止められないほどの狭いスペースの中で，彼らは試合を夢見て日々練習と部員集めに奔走していました。それから何年か経つと人数も増え，部として活動できるようになり，部員数だけでも30数名ほどの構成になりました。グランドを使い，試合形式の練習も人数に困ることなく自由に行えるようになっていき，当然，チームは強くなりオールデンタルでもシードをとる年の方が多いほどでした。優勝こそできていませんが，準優勝，3位，4位と輝かしい成績を積み重ねていき，まさに黄金期と呼ばれる時代でした。関東医歯薬リーグ戦でも優秀な成績を収め，中でも千葉マリンスタジアムで試合を行ったことは今でも記憶に残って薄れることがありません。大学から友人，知人がスタジアムに応援に駆けつけていただいて非常にすばらしい試合の一つでした。

現在，アメリカンフットボール部の部員は4人です。時代の流れなのかどこの部にも属さない生徒が激増し，部員の数はどこも減少の一途をたどっています。

ヘルメットを片手に空に突き上げて，勝利の雄叫びをあげたあの何とも言えない瞬間を今の部員たちにも一度でいいから経験させてあげたいものです。

現OB会会長　太田和秀(H2年度卒)

(田中千元 記)

読書案内

野口の背中で血脇が躍動
まさに正伝，是非ご一読を！

〔案内〕 S37年卒 安藤三男

北 篤著 正伝野口英世
毎日新聞社 1,300円

本書は野口英世生誕100周年を記念し，1976年地元の福島民報に103回にわたって連載，4年後に単行本として出版され，このたび，野口が千円紙幣に登場することを期に，再出版された。

著者の北 篤氏は会津若松市の出身で，医者の家に育ち早大文学部を卒業，多くの名著があり本書も全国学校図書選定を受けている。

これまで書かれた「英世伝」は彼を英雄として美化したり，その反動として偶像破壊を売り物としたりして，実在の人間とはかけ離れた虚像としか感じられない，と著者は述べている。外面の現象より血の通った個性，生きた手応えに迫り手心を加えることなく，包み隠さず真実に迫る。これが血脇守之助を大きくクローズアップし，血脇あっての野口をより鮮明にしていく。

本書と1979年に本学より発刊された「血脇守之助伝」とを対比して読むと，さらに興味が湧く。正直いってこれ程までに，血脇と野口の関係を赤裸々に描いている本は他に類を見ない。正伝英世が浮き彫りにされていくのにつれ，本物の血脇が躍動する。そして本学開祖の血脇が，日本の歯科の歴史を塗り変える。

血脇と野口の決定的な結びつきは，明治29年夏に遡る。これより5年前に血脇は新潟の三条町で英語の教師をしていた。将来の進路を探し求めていた折に，偶然英字新聞の歯科広告を見て三条病院の田原院長に相談した結果，歯科医師になることを決意。高山歯学院の門を叩く。血脇が歯科開業試験に合格し歯科医師になったその年の夏，田原の勧めにより会津若松の会陽医院前の旅館の一室で歯科出張診療を行う。野口が16才の時左手の手術を受けたのが会陽医院の渡辺院長であり，この手術がきっかけで，当医院の書生となり医学の勉強をする。これが血脇の目に止まる。田原と渡辺は共にアメリカ帰りのドクトル仲間で，血脇と野口を見事に結びつける。これを天運と呼ぶべきか。大成した人をみると何か巡り合わせに恵まれている。血脇は天性の親分肌で外向的，行動的でなかなかの熱血漢である。野口は観念的で理性に乏しく，この二人が結びついて巨大な業績を生んでゆく。木下藤吉郎が織田信長に巡り会えたに似て，血脇に出会えた野口の才能が花開く。

野口は上京して，医師開業前期試験を一回でパスした。後期試験の準備にとりかかるが無一文となり伊皿子坂の高山歯学院の血脇を訪ねる。血脇の給料は4円，昇給願い出て7円の中から2円を野口に与える。後期では臨床科目の外に臨床実習が必要である。医学塾済生学舎に入るのに月々15円かかるが，血脇は苦労してこれも叶えてあげる。そしてついに，野口は後期試験に合格，受験者80名中4名の合格という快挙であった。野口は高山歯学院で教鞭をとり，順天堂医院の助手となり，細菌学専攻を決意し北里研究所の見習となる。これらすべては血脇人脈の成せる業である。

野口には渡米の野望が燃え上がる。問題は旅費で調達は八方塞がり，世間が野口を突き放しどうにもならない時でも，血脇は決して見捨てなかった。若さで脱線しようと，それ位で彼の天分まで潰す訳にはゆかない。育ててやろうといったん決意した以上，徹底して尽くしてやりたい。平凡な医者としてこのまま朽ちさせてはならない。ところが，彼は小林夫人と婚約者の家からもらった渡米旅費を芸者遊びで使ってしまった。血脇は婚約の仲介者として放っておく訳にはゆかない。生れて始めて高利貸から300円を借りて野口に与えた。野口は大きな恩愛によって汚名を着ることなく渡米できた。

本書は血脇の名を天下に轟かせた。本学と無縁の北 篤氏の表現に説得力を増す。是非，ご一読あれと言いたい。

―文中敬称略―

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

（敬称略・届出順）

卒年	氏名（年齢）	住所	死因	日付
●昭 25 卒	櫻井和人（77歳）		多発性骨髄腫	15. 7.30
杉並支部	〒168-0065	杉並区浜田山2－15－39		
●昭 29 卒	熊倉正次（76歳）		肺炎	15. 7.31
新宿支部	〒330-0052	さいたま市浦和区本太1－24－11		
●昭 22 卒	麻薙光雄（79歳）		胃癌	15. 5.14
千葉県支部	〒277-0065	柏市光ヶ丘2－18－5		
●昭 47 卒	副島良一（55歳）		胃癌	15. 8. 7
佐賀県支部	〒840-0811	佐賀市大財2－1－18		
●昭 23 卒	辻 浩一（77歳）		心筋梗塞	15. 8.17
兵庫県支部	〒674-0066	明石市大久保町福田144－1 ハイツ福田405		
●昭 18.9 卒	立石宏行（82歳）		慢性腎不全	15. 8.20
札幌支部	〒061-3216	石狩市花川北6－2－157		
●昭 26 卒	鈴木和男（76歳）		肺炎	15. 8.28
埼玉県支部	〒365-0038	鴻巣市本町3－5－34		
●昭 18.9 卒	榎本要二（87歳）		多臓器不全	15. 8.27
静岡県支部	〒430-0928	浜松市板屋町101－2		
●昭 6 卒	中井俊次（89歳）		肺炎	11.12.16
神奈川湘南支部	〒253-0053	茅ヶ崎市東海岸北3－15－47		
●昭 28 卒	佐野義彦（76歳）			15. 9. 1
佐賀県支部	〒840-0831	佐賀市松原2－11－21		
●昭 16.12 卒	木村哲男（82歳）		呼吸不全	15. 9.20
向島支部	〒131-0032	墨田区東向島6－38－16		
●昭 38 卒	渡辺和夫（67歳）		糖尿病性腎不全	15. 9.24
北信支部	〒381-0043	長野市吉田3－11－25		

故櫻井和人君を偲ぶ　五十鈴会（昭和25年卒）

故櫻井和人君の御霊に謹んで哀悼の意を捧げます。

一年半程前のことでしたか，元気印の君が腰が痛むともらされたのは，クラス幹事会の席上でした。年のせいだと皆余り気にも止めませんでした。後日入院されたとの報で驚き，お見舞いに上り，多発性骨髄腫という辛い病気とうかがって，大変案じておりました。去る7月30日またまた幹事有志にてお見舞に上がった時，昏睡状態で酸素吸入を受けておられるではありませんか，愕然といたしました。何とか意識がもどってくれればとベットサイドで祈っておりました。残念にも午後9時すぎ，神に召され帰天されました。痛恨の極みでございます。顧みるに昭和21年4月入学当時は窮乏の時代，お互いに助け合っての学生時代でした。以来57年の永いお付き合いで，今日まで強い絆で結ばれておりました。今後君の笑顔，独特な笑い声と共に杯を交わすことも叶わず誠に残念で哀悼の念に堪えません。

君は1985年12月に自ら望み，カトリック信者として信仰への道を進まれました。受洗はご自身はもとより，ご一家の皆様にとっても大きな福音をもたらしたと存じます。おみ足のご不自由な奥様による献身的なご看病，また母校補綴科教授・麻酔科講師としてそれぞれご活躍中のお二人のご子息，ご家族の方々による励ましによって苦痛を克服され，まわりの方々に「有難う」「有難う」と感謝されておられていたとのこと，奥ゆかしい君の人柄が忍ばれます。良き父でありまた立派な歯科医師・敬けんなクリスチャンとしての人生でした。我々と親しくお付合いいただいたこと，同期五十鈴会会員共々感謝いたしております。

永遠の友である櫻井和人君また天でお会いいたしましょう。

（大山萬夫 記）

庶　務　日　誌

9月

1）理事会

9月20日(土)　第3回理事会

2）委員会

9月1日(月)　「臨床研修医のためのセミナー」に関する打ち合わせ

2日(火)　情報委員会

5日(金)　保険対策委員会

9日(火)　学術部委員会（プログラム委員会）

11日(木)　広報部委員会（会報編集）

13日(土)　学術部委員会（全体委員会）

22日(月)　学術部委員会（企画委員会）

25日(木)　役員連絡会

3）出　張

9月6日(土)　関東地域支部連合会（埼玉県支部担当）
梅田副会長，久保木理事出席
学術講演会
講師・平井泰行氏（日歯常務理事）

7日(日)　東海地域支部連合会総会（三重県支部担当）
天野会長，梅村常任理事，寺本理事出席

10日(水)　東歯関係日歯役員・代議員，都道府県歯会長と同窓会役員との懇談会

11日(木)　東京地域支部連合会学術関係者と同窓会学術部委員会委員との意見交換会

14日(日)　北海道地域支部連合会総会（函館支部担当）
天野会長，鈴木副会長，黒須常任理事，藤森理事出席
学術講演会　講師・井上　孝教授(母校)

27日(土)　信越地域支部連合会総会(南信支部担当)
天野会長，池田専務理事，小池理事出席
学術講演会　講師・川口　充教授(母校)

4）事　業

9月3日(水)　社会保険指導者情報交換会

4日(木)　第32回同窓会主催全国ゴルフ大会

13日(土)　臨床研修医のためのセミナー

10月

1）理事会

10月18日(土)　第4回理事会

2）委員会

10月2日(木)　学術部委員会（運営委員会）

6日(月)　情報委員会

9日(木)　学術部委員会（学術情報研究委員会）

10日(金)　広報部委員会（会報企画）

14日(火)　学術部委員会（プログラム委員会）

15日(水)　ゴルフ委員会

27日(月)　学術部委員会（企画委員会）

3）出　張

10月16日(木)　十勝支部学術講演会
講師・櫻井　薫教授（母校）

18日(土)　九州地域支部連合会総会（長崎県支部担当）
高原常任監事，澤田理事出席

22日(水)　武蔵野支部学術講演会
講師・佐藤　亨教授（母校）

25日(土)　島根県支部総会　大井常任理事出席
学術講演会　講師・山田　了教授(母校)

25日(土)　北信支部学術講演会
講師・野呂明夫講師（母校）

26日(日)　神奈川県支部連合同窓会学術研修会
講師・三上直一郎氏（東京都開業）

26日(日)　東歯祭後夜祭　安藤常任理事出席

◆投稿規定

(1) 原稿締切り

原稿の締切りは，奇数月の10日までとし，原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

(2) 投稿様式

投稿は原稿用紙に横書きとし，便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを，大きいサイズ（2Lなど）で，集合写真のみでなく，スナップなども添えて下さい。

(3) 投稿字数

① 「すいどうばし」欄（随想，詩，短歌，時評など）は，1編1,600字程度

② 「支部のうごき」「クラス会だより」は，本文のみの場合1,600字程度。写真が入る場合，3段抜き900字，2段抜き400字，1段抜き200字減らして下さい。

③ 「追悼」は，500字程度

(4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし，紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので，ご了承下さい。

なお,掲載については委員会にご一任いただきます。

(5) 写真等の返却

写真等は，原則として返却いたしませんが，特に貴重な写真などの場合は，その旨書き添えて下されば返送いたします。

◆へんしゅうこうき

★先日東京国際フォーラムで開催されている「人体の不思議展」に家族で行って参りました。以前のようなホルマリン漬けの標本ではなく，献体された人体を固定等の処理をした後樹脂で置き換えたプラストミックという標本です。触れる標本もあり,ふれてみると硬いゴムのような感触でした。平日にもかかわらず会場はかなり混み，大きい声で「グローイ」を連発する若い人もいて賑やかでした。確かにご遺体であることを忘れさせるようなきれいな標本なのですが…

★1903年11月27日に日本歯科医師会が発足して以来今年で百年になります。初代大日本歯科医会会長は高山紀斎先生（明治36年から明治39年），そして次は榎本積一先生（明治39年から大正7年），さらに血脇守之助先生（大正7年から昭和21年）と続きます。またそれ以降も同窓が日本歯科医師会の会長として活躍されています。歴代の日本歯科医師会会長を調べれば，日本歯科医師会のイニシアチブを取っていたのは母校出身者とわかります。

★巻頭言では高橋義一学術担当理事が平成18年度から始まる臨床研修制度と同窓会の取り組みについて述べています。平成18年（2006年）の百年前1906年10月水道橋駅が開業し，それにあわせるかのようにわが国初の臨床実習がこの年に落成した校舎で開始されています。母校裏の三崎稲荷神社もこの前年1905年に甲武鉄道（中央線の前身）の工事に伴い現在の場所に移転しています。また後楽園には東京砲兵工廠（陸軍の軍需工場）がありました。百年前の水道橋は我々の想像をはるかに超えているようです。

★三崎稲荷は「厄除け，家内安全，商売繁盛を御利益としているが，旅の安全，社運の回復の御利益があることでも有名」ということです。歯科界，歯科医院の社運回復，商売繁盛のため，水道橋までお越しの節にはお参りするとご利益があるかもしれません！？

★平岡　凞（ひろし）という名前をご存知でしょうか。我国初の野球チームを創設したことで野球殿堂入りした人です。日本の野球の創始者ともいわれています。百年ほど前，東京砲兵工廠の敷地にあった汽車製造会社を経営していました。そのころ今の水道橋校舎の地には元旗本屋敷である平岡邸があり，この屋敷を平岡氏から血脇守之助が算盤抜きの破格の金額で譲渡を受けています。証文無しの男と男の約束で取り交わされたということです。百年前の人間も我々の想像を超えています。百年の隔たりを理解するためには，現在の常識から想像してはならないのでしょう。

（三友和夫）

平成15年10月20日　印刷
平成15年10月25日　発行
東京歯科大学同窓会会報　第335号

同窓会ホームページアドレス
http://www.tdc-alumni.jp

発行人　大井基道
編集人　小林伯男
東京歯科大学同窓会
〒101-0061　東京都千代田区三崎町2－9－18
電話（03）5275－1761
FAX（03）3264－4859

印刷所　一世印刷株式会社
〒161-8558　東京都新宿区下落合2－6－22
電話（03）3952－5651（代）

頼れる新商品登場!!

すでに多数の先生にご利用いただいております、同窓会団体保険制度

「東京歯科大学同窓会団体所得補償保険」（（社）日本歯科医師会団体契約）

に下記の頼もしい新商品が追加されました。

1．「がん保険（1年契約用）」　30%団体割引適用

2．「医療保険（1年契約用）」　30%団体割引適用

※平成15年1月1日保険開始です。中途加入も毎月可能です。

1．がん保険の特徴

※がんは治る時代！　でも治すためにはいざという時の準備が必要です。

東京海上のがん保険は初期がんでも全額補償、診断給付金は何度でも(2回目以降は2年経過後)、入院給付金は何日でも補償します。

【加入例】Aタイプ（本人型）

・診断給付金１００万円、入院給付金１日２万円、重度一時金１００万円
その他手術給付金、通院給付金、がん女性特定手術保険金などの保障がついて
４２歳【男性】月々 ９１０円　【女性】月々 1,１３０円

※　初年度契約は、保険始期を含めて９０日間を経過した日の翌日から保障開始となります。

2．医療保険の特徴

※もしも入院された場合の思わぬ負担・入院の長期化が心配です。

東京海上の医療保険は入院初日から補償がスタート。１入院180日間（通算限度なし）までお支払いします。

【加入例】Aタイプ（本人型）

・入院給付金１日１万円、重度入院一時金１００万円、退院後療養保険金10万円
女性入院保険金１日１万円などの保障がついて
４２歳【男性】月々 3,７２０円　【女性】月々 4,４８０円

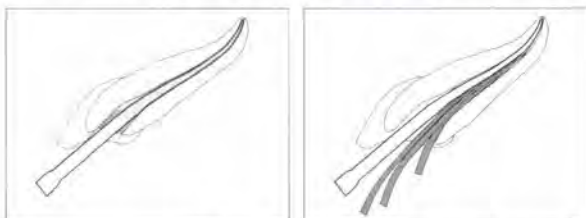
※詳細は、パンフレットに記載されておりますので、ご要望の先生は下記代理店までお申し付け下さい。

新しい素材が根管充填のスタイルを広げます。

同じだけど違う!

Same but Different

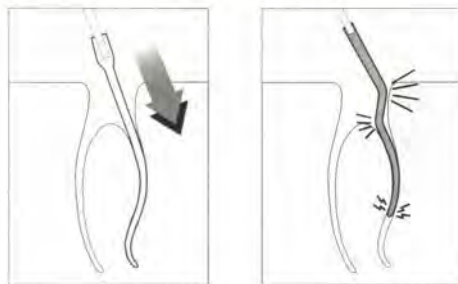
■ 保険診療対応。
加圧根管充填が算定頂けます。

■ マスターポイントとしてお使い頂けます。

ラテラルコンデンスの場合、アクセサリーポイントはガッタパーチャ製をお使い頂きます。
余剰部分は加熱したインスツルメントでカットできます。この際、ガッタパーチャを切除するときより高めに加熱します。
※溶剤で軟化させることはできません。シーラー併用です。
※製品添付の取扱説明書をよくお読みのうえご使用下さい。

■ ポイントの除去が可能です。
根管内にエンジンリーマーを挿入すると、ポイントに沿ってリーマーが簡単に入ります。ある程度エンジンリーマーが入ったらハンドリーマーやファイルを用いて除去して下さい。

■ 簡単に切削できます。
スチールバーでもピーソリーマーでも、簡単に切削できます。

■ ISO規格(ISO6877)に準拠しています。
エックス線造影性 6.6mm
サイズ ISO ⑳ ㉕ ㉚ ㊵ ㊿ 60 70

■ フレキシブル!
コシが強く柔軟性が高いため、細い根管への挿入が容易です。

■ オートクレーブ滅菌に対応しています。
円筒容器ごとオートクレーブ滅菌できます。

■ 根管長測定のX線撮影にお使い頂けます。
造影性・耐久性が高く、リーマー等に替わり安全にご使用頂けます。

■ 均質です。
機械化された射出成形により、均質でサイズ精度の高い品質を確保しています。

■ 生体親和性の高い材質です。
フレックスポイントの皮下埋入試験
兎背部の表皮下に#30のフレックスポイントとガッタパーチャポイントを4週間埋入
<組織像>

<フレックスポイント>

<ガッタパーチャポイント>

フレックスポイント「ネオ」の組織反応はガッタパーチャポイントより軽微であり、歯科材料としての組織為害性には問題ないと判断できます。

ポリプロピレン
医療材料、食品包装、衣類、家電製品などに広く使われている樹脂で、剛性、耐熱性、耐湿性、耐薬品性、耐曲げ疲れ性などに優れた特性を持ちます。また、内分泌かく乱物質(環境ホルモン)を含まないプラスチックとしても知られています。

FLEXPOINT® NEO

歯科用根管充填ポイント
フレックスポイント®「ネオ」
医療用具承認番号 21300BZZ00184000
日本特許 第3174944号/米国特許 6024569

NEW!

組成 ポリプロピレン 硫酸バリウム
包装価格 単品 50本入 3,000円
セット 50本入 3,000円
#30〜70各10本 入り
(#20#25は入っていません。単品包装をご利用下さい)

ネオ製薬工業株式会社
〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号
Tel.(03)3400-3768(代) Fax.(03)3499-0613

ネオ製薬ホームページ
最新の製品情報を掲載
http://www.neo-dental.com/

NF0203

Happy Smiles & Heartful Communication

すべてはコミュニケーションから始まります。

「治療」から「ケア」までサポートします。

患者さんの「口腔の健康」を一生見守る。そんな、患者さんの健康管理のための診療環境として、「NEW POS A&C 診療セット」は、新たなスタイルで登場しました。治療からケアまでをサポートする、患者さんが求める快適な診療ができる21世紀に向けての診療設備です。

患者さんと先生の6つのポジション

患者導入ポジション

カウンセリングポジション

12時診療ポジション

9時診療ポジション

プラークコントロールポジション

対面ポジション

ペイシェント オリエンティッド システム 診療セット

品質マネジメントシステム　環境マネジメントシステム

ISO9001 認証 JQA-0933　ISO14001 認証 JQA-EM0543

■標準価格 4,207,000円より　■医療用具承認番号 20200BZZ01453

※標準価格は2002年1月21日現在のものです。標準価格には消費税等は含まれておりません。
※仕様及び外観は製品改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

製造　株式会社モリタ製作所

株式会社モリタ
東京本社　東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL:03-3834-6161
大阪本社　大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL:06-6380-2525

株式会社モリタ製作所
本社工場　京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 TEL:075-611-2141
久御山工場　京都府久世郡久御山町大字市田小字新珠城190 〒613-0022 TEL:0774-43-7594

株式会社モリタ東京製作所
本社工場　埼玉県さいたま市中央区上落合2-1-24 〒338-8538 TEL:048-852-1315
伊奈工場　埼玉県北足立郡伊奈町小室7129 〒362-0806

www.dental-plaza.com

歯科鋳造用陶材焼付貴金属合金タイプ１

ケイアイケイ
KIK
Atlas
KIK　アトラス
許可番号 11BZ0269

時の流れをこえたクオリティの高さ

上質なゴールドカラーで、審美性も抜群

- ●成　　　分：金86.5%　白金11.3%　その他
- ●溶融温度：液相点―1125℃　固相点―1050℃
- ●色　　　調：黄金色
- ●熱膨張係数：$14.4\times10^{-6}K^{-1}$ (50~500℃平均)
- ●質　　　量：10g

●物理的・機械的特性

硬さ(HV)		耐力(MPa)		伸び(%)		密度
鋳　造	グレーズ	鋳　造	グレーズ	鋳　造	グレーズ	(g/cm³)
180	220	490	570	6	7	18.8

製品名	成　分				液相点	硬さ	耐力	伸び
	金	銀	白金	パラジウム	(℃)	(HV)	(MPa)	(%)
KIK	85.5	0.5	4.0	8.0	1200	170	400	4
KIKハードⅡ	72.0	2.8	13.0	9.7	1290	210	420	5
KIKルミナス	75.0	2.9	10.0	10.0	1295	210	410	5
KIKゴールド	86.7	―	10.7	―	1100	140	260	10
KIKジースリー	84.5	0.4	10.8	1.0	1180	210	400	6
KIKノーブル	45.0	―	―	46.0	1280	220	450	18
KIKエイブル	40.0	19.5	―	35.0	1270	275	480	6
KIKウィング	―	―	―	81.0	1290	250	450	23

■詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。
ホームページ：http://www.ishifuku.co.jp

ロンドン金市場公認溶解検定業者／(社)日本金地金流通協会正会員／㋜金銀パラジウム合金 JIS表示許可工場

㊫石福金属興業株式会社　歯科材販売

本　　　社：〒101-8654　東京都千代田区内神田3丁目20番7号
TEL.03-3252-8471(直通)　FAX.03-3252-8475
大阪営業所：〒550-0005　大阪市西区西本町1丁目13番36号
TEL.06-6532-1351(代)
名古屋営業所：〒450-0002　名古屋市中村区名駅5丁目22番10号
TEL.052-563-1201(代)
九州営業所：〒802-0002　北九州市小倉北区京町3丁目13番13号
TEL.093-531-9331(代)